

甲斐市創甲斐教育推進大綱

策定にかかるアンケート調査結果

【調査概要】	1
【市民アンケート】.....	2
■ あなたご自身のことについて.....	2
問 1：性別（SA）	2
問 2：年齢（SA）	2
問 3：居住地区（SA）	3
問 4-1：未成年(18歳未満)の子どもの有無（SA）	3
問 4-2：未成年(18歳未満)の子どもの人数（SA）	4
問 4-3：未成年(18歳未満)の子どもの年代（MA）	4
問 5：世帯構成（SA）	5
問 6：職業（SA）	5
■ 学校教育について	6
問 7：学校教育について、市が特に力を入れるべきだと思うこと（MA）	6
■ 生涯学習について	8
問 8-1：「生涯学習」に取り組んでいるか（SA）	8
問 8-2：学習した成果をどのように生かしているか、あるいは生かせると思うか（MA）	8
問 8-3：「生涯学習」に取り組んでいない理由（MA）	9
問 9：これから学習するとした場合、どのようなことを学習したいか（MA）	9
問 10：今後、市の文化芸術の振興に大切だと思うこと（MA）	11
■ 運動やスポーツについて	12
問 11：運動やスポーツへの取り組み状況と満足度（SA）	12
問 12：運動やスポーツに取り組むための条件（MA）	12
問 13-1：主な体育施設の利用状況 [市の体育施設（体育館・グラウンド・テニスコート等）] （SA）	14
問 13-2：主な体育施設の利用状況 [市のプール]（SA）	14
問 13-3：主な体育施設の利用状況 [学校の体育施設（体育館・グラウンド等）]（SA）	15
問 13-4：主な体育施設の利用状況 [民間の体育施設]（SA）	15

問 13-5：主な体育施設の利用状況〔他市町村の体育施設〕（SA）	15
問 14-1-1：市主催の運動やスポーツ関連イベントの認知度〔KAI SPORTS DAY〕（SA）	16
問 14-1-2：今後もまた参加したいか〔KAI SPORTS DAY〕（SA）	16
問 14-2-1：市主催の運動やスポーツ関連イベントの認知度〔甲斐梅の里クロスカントリー〕（SA）	17
問 14-2-2：今後もまた参加したいか〔甲斐梅の里クロスカントリー〕（SA）	17
問 14-3-1：市主催の運動やスポーツ関連イベントの認知度〔軽スポーツ教室〕（SA）	18
問 14-3-2：今後もまた参加したいか〔軽スポーツ教室〕（SA）	18
問 15：市民のスポーツや健康づくりの推進について、あなたの考えに近いもの（SA）	19
■図書館利用について	20
問 16-1：市立図書館利用の有無（SA）	20
問 16-2：市立図書館の利用目的（MA）	20
問 16-3：市立図書館を利用しない理由（MA）	21
問 17：今後の図書館の運営について、市が力を入れるべきだと思うこと（MA）	23
■家庭・地域・学校に連携について	25
問 18-1：地域の子どもと接する頻度（SA）	25
問 18-2：どのように接しているか（MA）	25
問 18-3：学校と家庭や地域社会が協力体制を推進するために必要だと思うこと（MA）	26
問 19：学校に関する活動のうち、協力してみたいこと（MA）	28
■自由意見	29
問 20：自由意見（FA）	29
【小学生アンケート】	32
問 1：あなたが通っている学校を教えてください（SA）	32
問 2：あなたは何年生ですか（SA）	33
問 3：あなたの性別を教えてください（SA）	33
問 4：あなたは甲斐市のことが好きですか（SA）	34
問 5：あなたは大人になってからも甲斐市に住み続けたいと思いますか（SA）	34
問 6：あなたが学校に望むこと、期待することは何ですか（MA）	35
問 7：問 6 で選んだ理由をそれぞれ教えてください（FA）	35
問 8：学校をよりよくするアイデアがあったら教えてください（FA）	36
【中学生アンケート】	38
問 1：あなたが通っている学校を教えてください（SA）	38
問 2：あなたは何年生ですか（SA）	38
問 3：あなたの性別を教えてください（SA）	39
問 4：あなたは甲斐市のことが好きですか（SA）	39

問 5 : あなたは大人になってからも甲斐市に住み続けたいと思いますか (SA)	39
問 6 : あなたが学校に望むこと、期待することは何ですか (MA)	40
問 7 : 問 6 で選んだ理由をそれぞれ教えてください (FA)	40
問 8 : 学校をよりよくするアイデアがあったら教えてください (FA)	41

【調査概要】

① 調査の目的

第3次創甲斐教育推進大綱(令和7年度～令和11年度)の策定にあたり、計画の基礎資料とするため「学校教育」、「生涯学習」、「運動・スポーツ」、「図書館利用」、「家庭・地域・学校の連携」について、市民及び小学生・中学生を対象にアンケート調査を実施した。

② 調査時期

アンケート期間: 令和6年7月1日(月)～7月28日(日)

③ 調査対象

【市民】市内に住民登録がある18歳以上の人

【小学生】市立全小学校の5年生・6年生

【中学生】市立全中学校の1年生～3年生

④ 調査方法

【市民】

Webアンケートによる調査・回答

(甲斐市LINE公式アカウントと市のウェブサイト)

【小学校・中学校】

児童生徒に配布されているタブレット端末を用いたWebアンケートによる調査・回答

⑤ 調査結果

【市民】有効回答数: 1,938件

【小学生・中学生】有効回答数 小学生: 1,124件 中学生: 1,496件

⑥ 本報告書中の記号、調査結果の数値等について

(SA) …… 単一回答(Single Answer)の略。選択回答は1項目のみ。

(MA) …… 複数回答(Multi Answer)の略。一部回答を限定しているものもある。

また、回答率は100%を超える場合がある。

(FA) …… 自由回答(Free Answer)の略。回答者の考えを自由に記入するもの。

n …… 回答者数(number)を表す。「n=100」は、回答者数100人ということ。

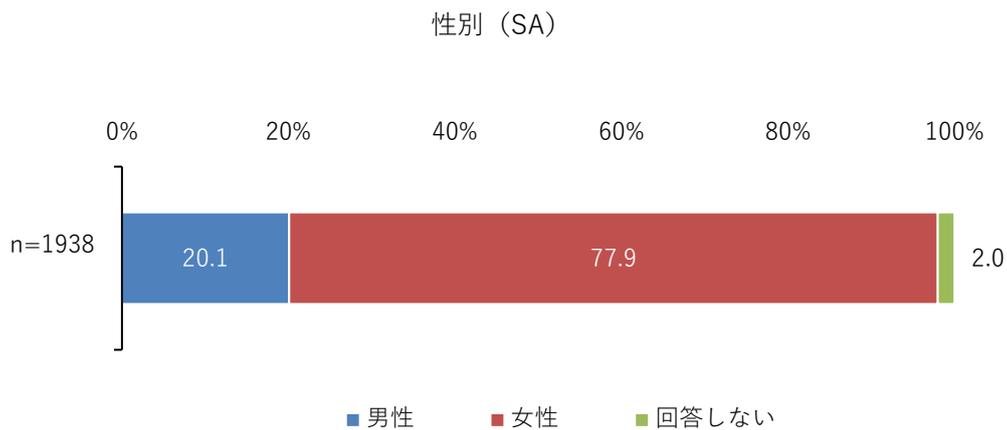
※回答項目の構成比は、小数点第二位を四捨五入しているため、各項目の合計が100%にならない場合もある。

【市民アンケート】

■あなたご自身のことについて

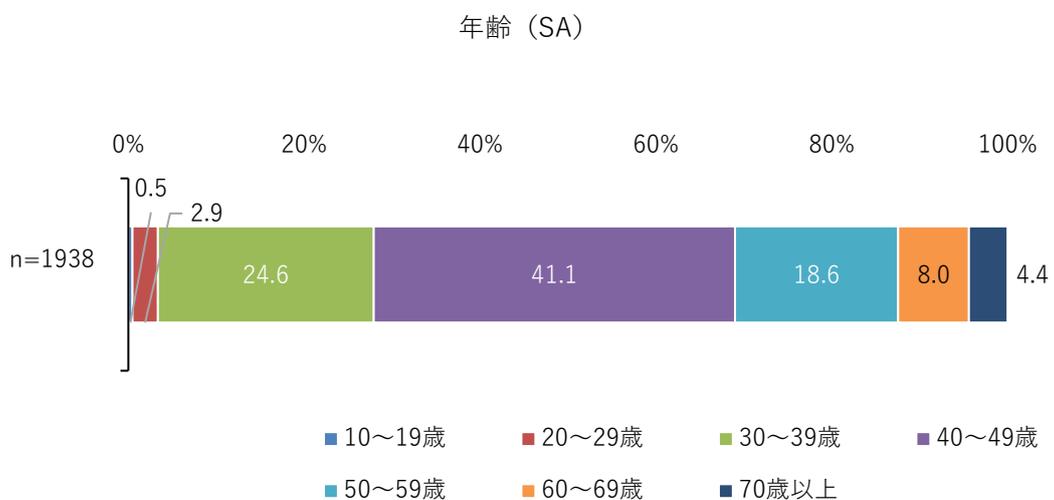
問 1 : 性別 (SA)

男性が 20.1% (389 人)、女性が 77.9% (1,510 人) となっている。



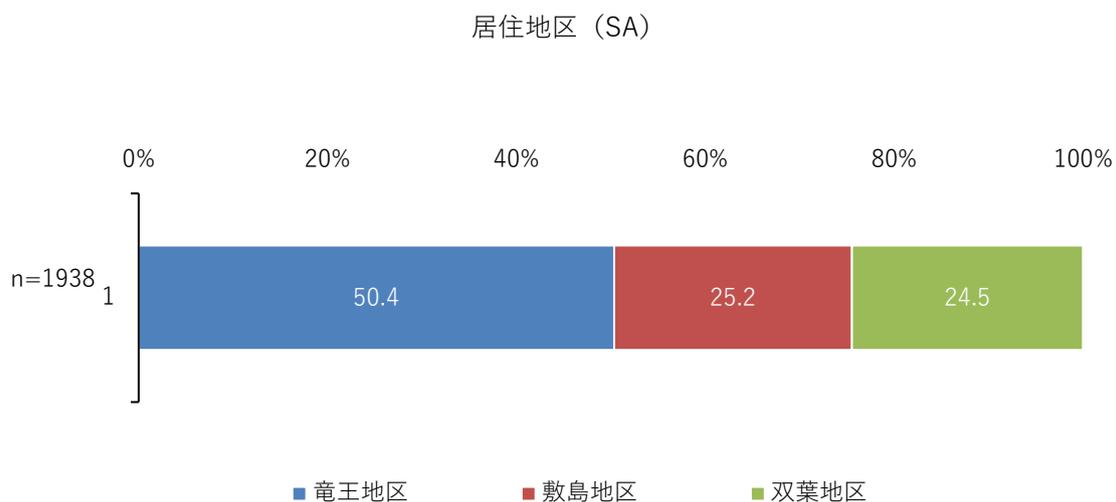
問 2 : 年齢 (SA)

年齢は、「40～49 歳」が最も多く 41.1%、「30～39 歳」が 24.6%、「50～59 歳」が 18.6% となっている。



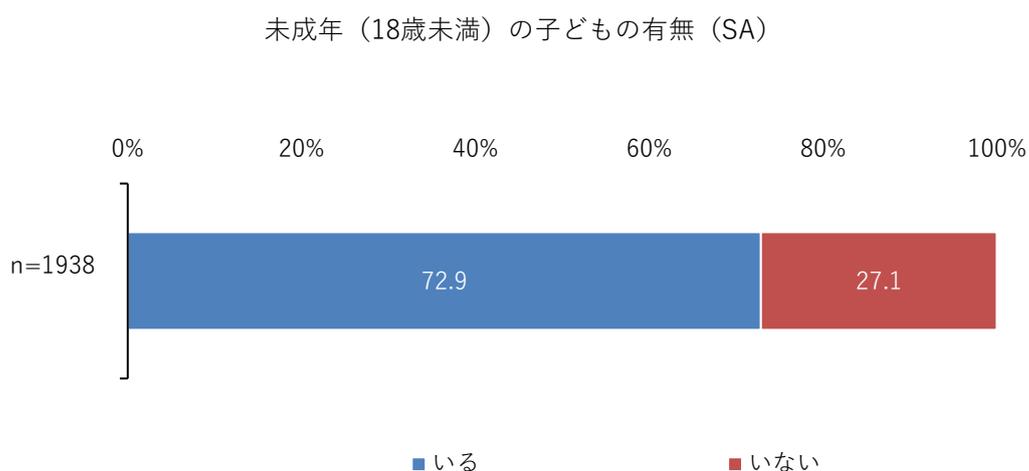
問 3 : 居住地区 (SA)

「竜王地区」が 50.4%と最も多く、次いで「敷島地区」が 25.2%、「双葉地区」が 24.5%となっている。



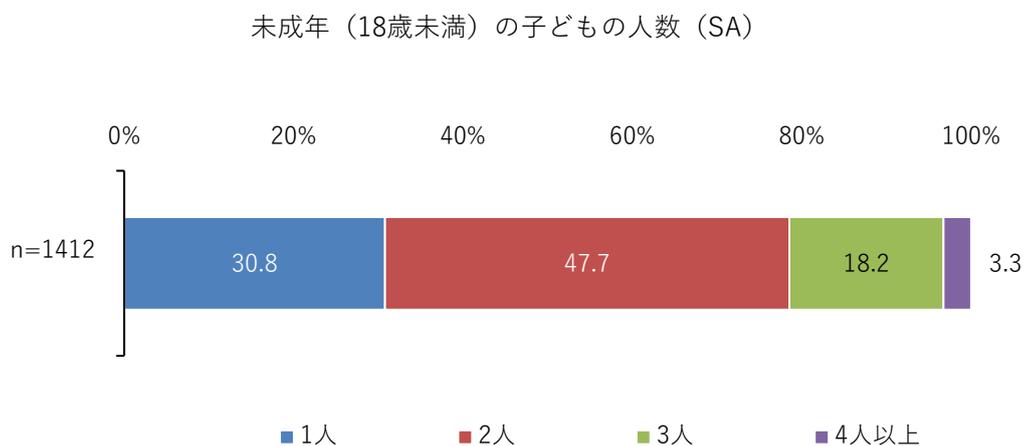
問 4-1 : 未成年(18歳未満)の子どもの有無 (SA)

「いる」が 72.9%、「いない」が 27.1%となっている。



問 4-2 : 未成年(18歳未満)の子どもの人数 (SA)

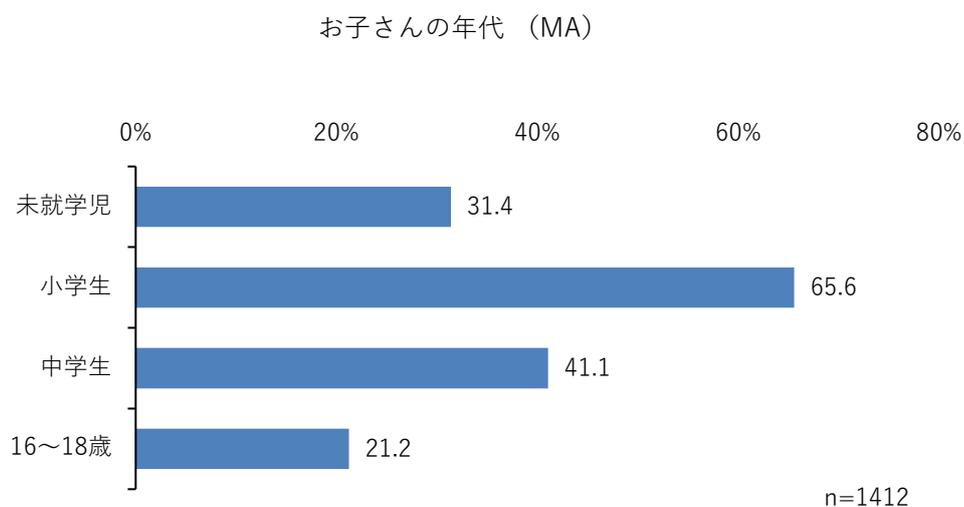
「1人」が 30.8%、「2人」が 47.7%、「3人」が 18.2%などとなっている。



※問 4-1 で「いる」と回答した方のみ

問 4-3 : 未成年(18歳未満)の子どもの年代 (MA)

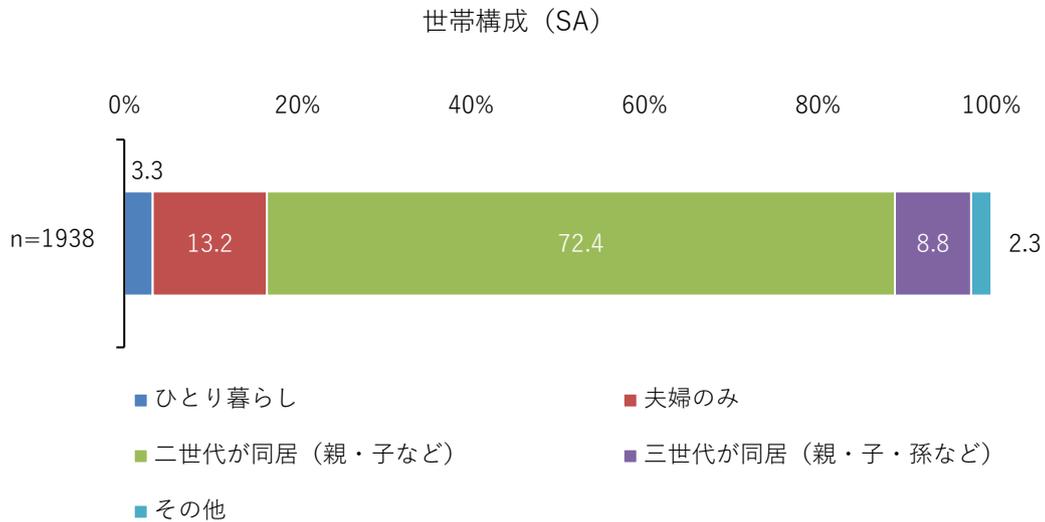
「小学生」が 65.6%で最も多く、次いで「中学生」が 41.1%、「未就学児」が 31.4%などとなっている。



※問 4-1 で「いる」と回答した方のみ

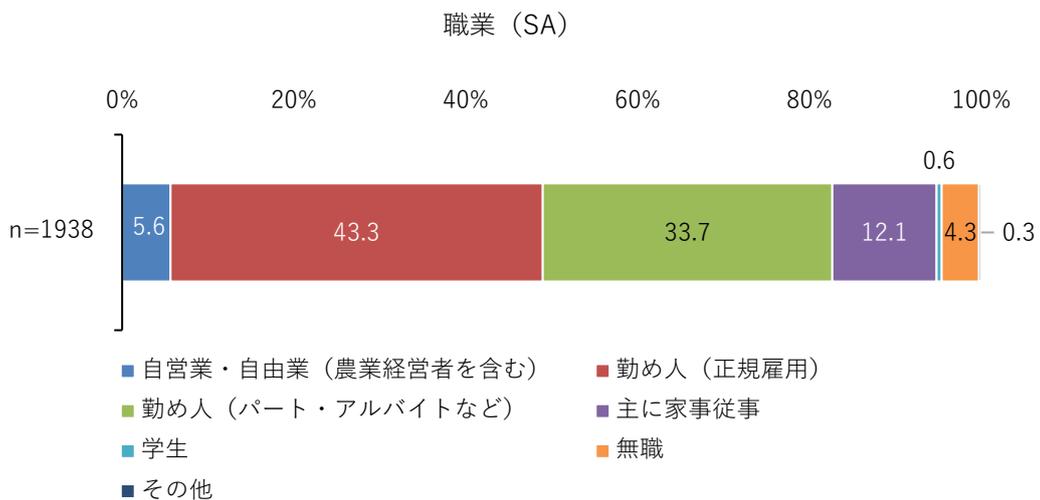
問 5 : 世帯構成 (SA)

「二世代が同居(親・子など)」が 72.4%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が 13.2%、「三世代が同居(親・子・孫など)」が 8.8%などとなっている。



問 6 : 職業 (SA)

「勤め人(正規雇用)」が 43.3%で最も多く、次いで「勤め人(パート・アルバイトなど)」が 33.7%、「主に家事従事」が 12.1%などとなっている。



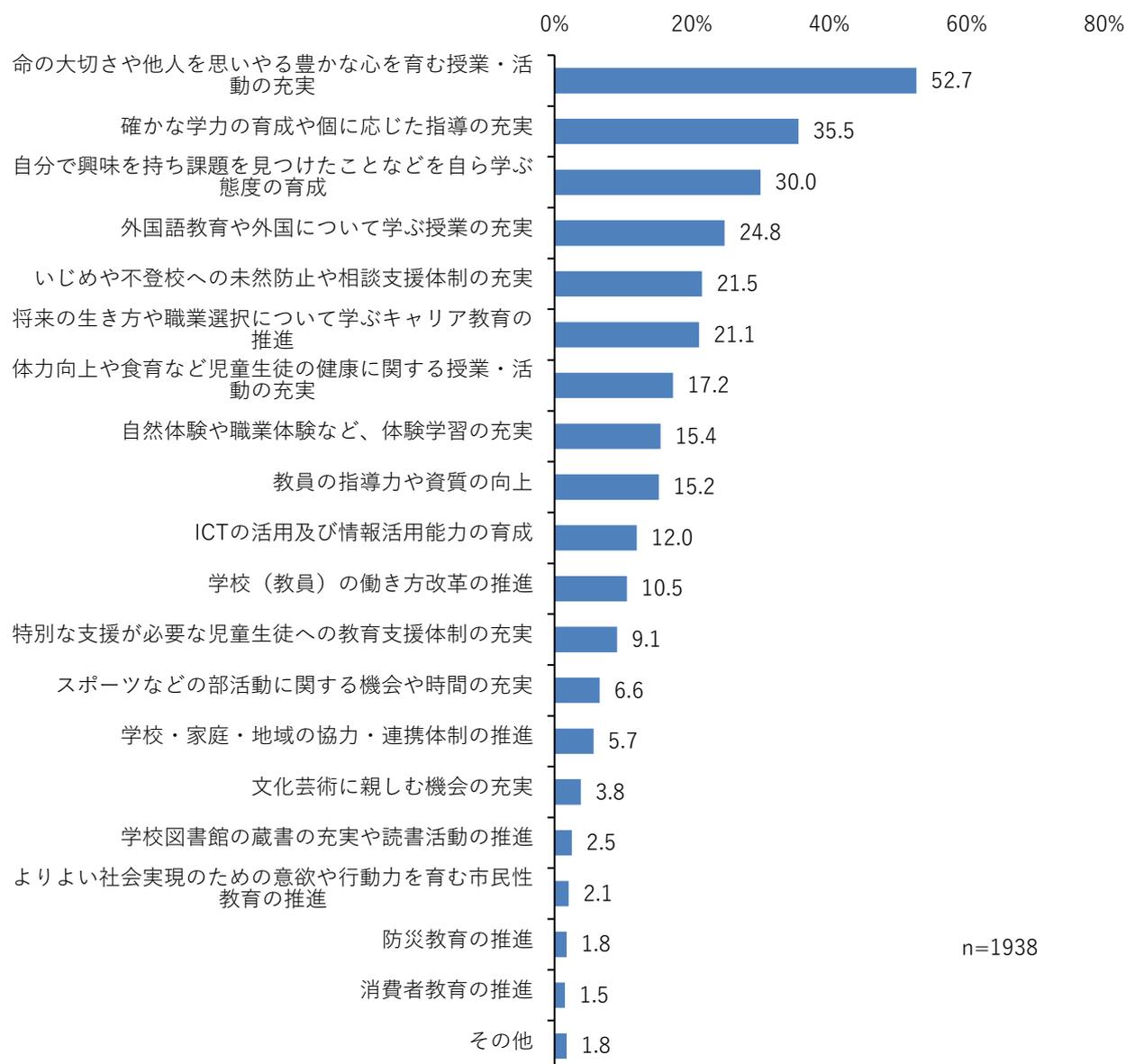
その他	n
育休中	1
会社経営	2
業務委託	1
職業訓練校に通っています	1
計	5

■ 学校教育について

問7：学校教育について、市が特に力を入れるべきだと思うこと（MA）

「命の大切さや他人を思いやる豊かな心を育む授業・活動の充実」が 52.7%で最も多く、次いで「確かな学力の育成や個に応じた指導の充実」が 35.5%、「自分で興味を持ち課題を見つけたことなどを自ら学ぶ態度の育成」が 30.0%などとなっている。

学校教育について、市が特に力を入れるべきだと思うこと（MA）

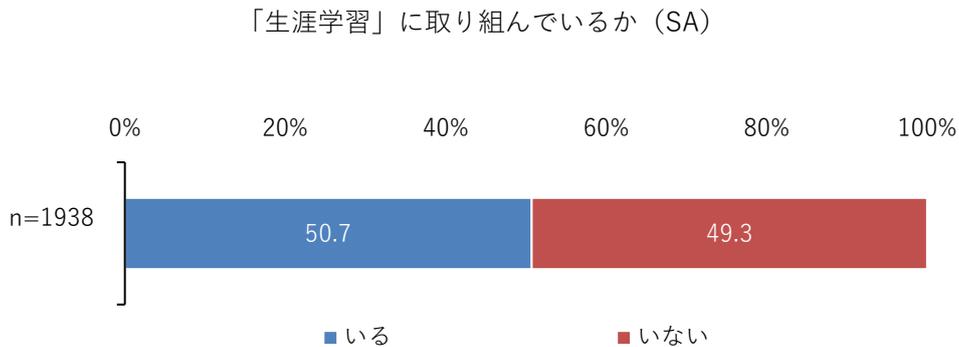


その他	n
お金について	1
お金に関する勉強	1
お金の仕組みやルール。資産運用、循環、為替、株式等の仕組みや会社、仕事とは何か。税金の仕組み。	1
お金の授業、お金の大切さや使い方、生み出し方。	1
お金の大切さや資産運用についての勉強	1
ひとり親の子供たちなどの休み中の食事の支給などに力を入れてほしい。	1
学童の時間の拡大。特に朝。	1
給食の充実	1
給食費の無償化	1
教育プログラムを量的均質性から質的多様性へシフトさせる努力、 大学入試も AO 入試の拡充等で変わりつつある時代のため。	1
教育格差対策	1
教員のメンタルケア、メンタルトレーニング	1
教員の質の向上	1
教員の労働環境の改善	1
金銭的な負担の改善	1
金融リテラシー向上のための学習	1
個性の尊重	1
個性を伸ばす教育	1
古い昔からの固定観念から抜け出した今の子どもたちに適応した学校教育の在り方を構築すること	1
子どもの個を尊重し、一人ひとりに寄り添える教育。	1
指導者の教育レベルの向上。教育委員会メンバーや公立学校教育者のレベルがとても低いので民間企業で最低1年は研修を積むこと。子どもにいろいろ教える前に世の中をしっかりと知ってください。大人として恥ずかしい教師や教育委員が多すぎます。	1
資産形成、NISA の仕組み	1
主体的に学習テーマを探し、探求して深掘りする力をつける	1
少子化、核家族化を考えた育成会や PTA 体制のありかた	1
障害がある生徒がいたら共に学校生活を送り人はみな同じだということを子供のうちから学び偏見のない学校教育に力をいれてもらいたいです。	1
食事(砂糖、小麦、乳製品を極力控え、無添加、無農薬の食材で調理した食事)体も頭も食べた物からできています。食事を見直すと子供達の学力、意力、落ち着きも変わると思います。	1
生徒が気軽に相談できる環境を整えて欲しい。 学校や家庭内の問題を学校側だけでなく行政にも繋がるような取り組みが理想。	1
税金や投資などお金のこと	1
道徳授業、社会のマナー、親子でお願いしたい。	1
特になのですが、いじめとから学校内で解決しないで警察に任せほうが良いと思います。	1
日本建国の歴史、偉人の功績	1
年代に合わせた性教育(犯罪者にさせない教育、性犯罪から身を守る教育、正しい性知識)	1
不登校児の支援、オンライン授業など。	1
保護者が無償でやられている旗振りや PTA 活動など保護者活動を、市の職員がやれば良い。	1
計	34

■生涯学習について

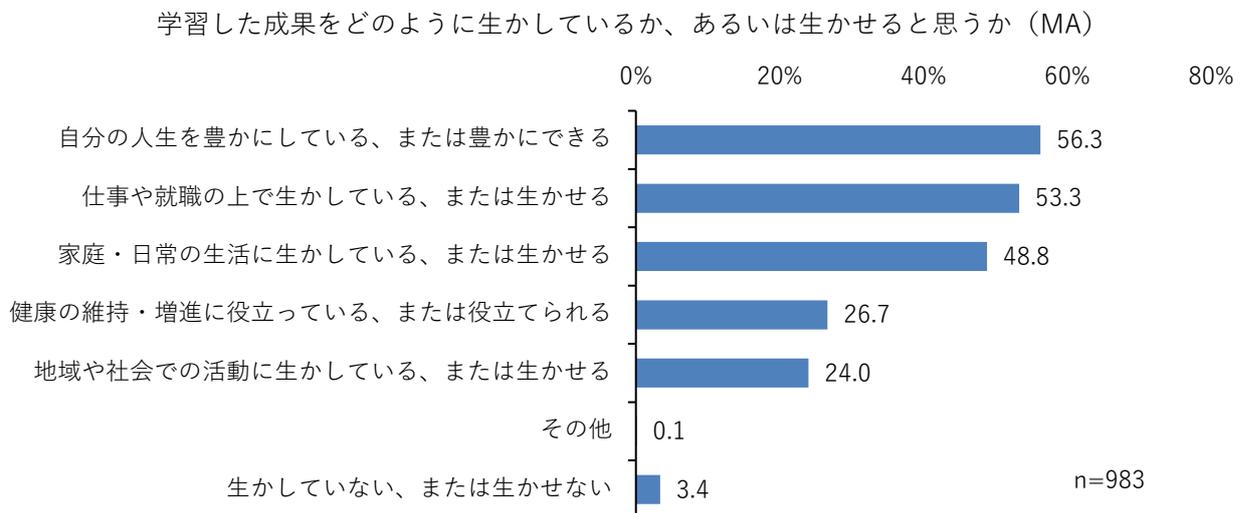
問 8-1：「生涯学習」に取り組んでいるか（SA）

「いる」が 50.7%、「いない」が 49.3%となっている。



問 8-2：学習した成果をどのように生かしているか、あるいは生かせると思うか（MA）

「自分の人生を豊かにしている、または豊かにできる」が 56.3%と最も多く、次いで「仕事や就職の上で生かしている、または生かせる」が 53.3%、「家庭・日常の生活に生かしている、または生かせる」が 48.8%などとなっている。

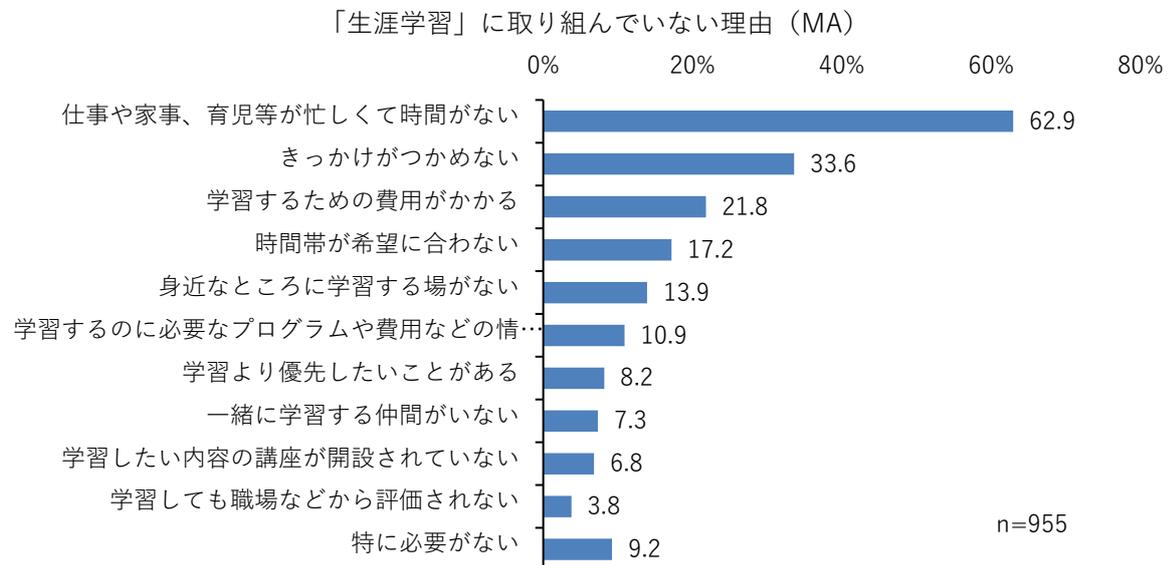


※問 8-1 で「生涯学習に取り組んでいる」と回答した方のみ

その他	n
分からない	1
計	1

問 8-3：「生涯学習」に取り組んでいない理由（MA）

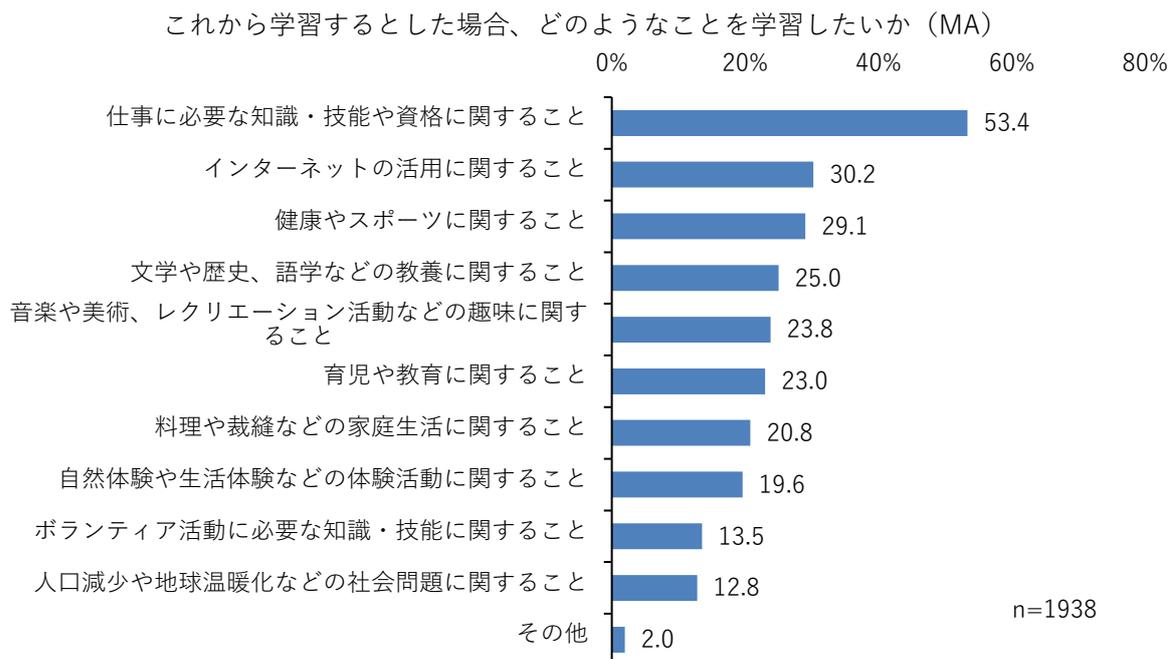
「仕事や家事、育児等が忙しくて時間がない」が 62.9%で最も多く、次いで「きっかけがつかめない」が 33.6%、「学習するための費用がかかる」が 21.8%などとなっている。



※問 8-1 で「生涯学習に取り組んでいない」と回答した方のみ

問 9：これから学習するとした場合、どのようなことを学習したいか（MA）

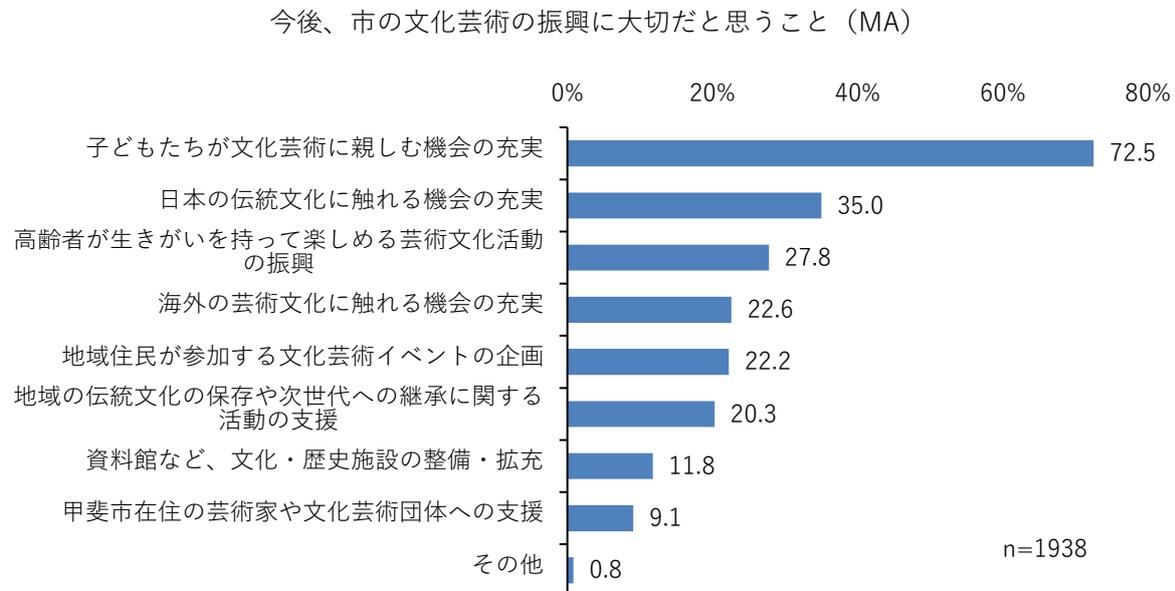
「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」が 53.4%と最も高く、次いで「インターネットの活用に関すること」が 30.2%、「健康やスポーツに関すること」が 29.1%などとなっている。



その他	n
お金・資産運用等に関すること	18
からだ作りの講座ダンスやヨガ	1
それは個人の問題だから、市が予算をさかなくて良い。 高齢者や子供だけでなく、狭間の独身や不妊治療夫妻が働き過ぎなくて済む方法へ 予算を回してほしい。	1
プログラミングなど	1
みんなが幸せだと思えるにはどんなケアが必要になるか	1
リスキリング、キャリア教育	1
わからない、	1
外国語	2
学習したいことが無い	1
興味を持った事があればすめたい	1
国際交流	1
歳をとったから、行動が鈍くなった	1
仕事に必要なくても自分が興味を持った知識技能	1
障害者でも気軽に学習する場、学習内容を提供して頂ければいいと考えてます。	1
心理学	1
世代間の考えの違いを知り合う場、異なる分野の方々が大人数で交わり、 意見交換しあい知見を広げる場	1
地域での起業活動	1
中国語	1
必要な事は、その都度自己研鑽しています。	1
特に無し	1
	計 38

問 10 : 今後、市の文化芸術の振興に大切だと思うこと (MA)

「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」が 72.5%と最も高く、次いで「日本の伝統文化に触れる機会の充実」が 35.0%、「高齢者が生きがいを持って楽しめる芸術文化活動の振興」が 27.8%などとなっている。

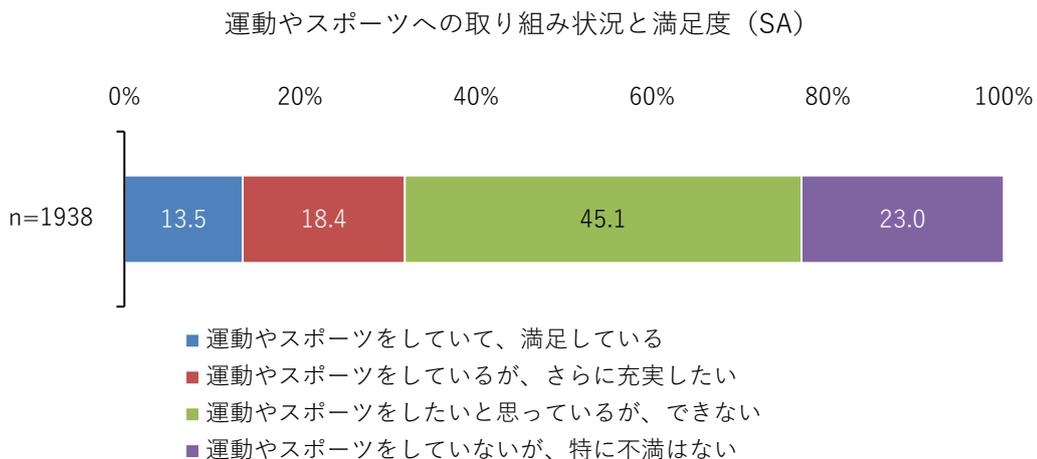


その他	n
うたごえ集会は必要を感じない、観劇や音楽鑑賞の機会をつくるほうがよいと思う。	1
とにかく資料館とかはいらないです	1
ハコモノを必要とせず、AR/VR 空間上で地域の歴史などを学習する方法の検討 (HW/SW 問わない)	1
今の時代にあったこれからの人に向けた地域の理解、年配者より若者に向けた充実した支援	1
市民ギャラリーなど展示施設の充実	1
支援が必要な人が暮らしやすい街づくりの工夫と実践	1
春休み、夏休み、冬休みなど、児童館で子供をお預かりをお願いする時にお弁当を持たせるのですが両親が働いているとどうしても負担になるので、甲斐市で低価格で提供できるお弁当や給食を用意していただきたい。	1
箱物を作るには維持管理がかかることから必要性を感じない。 文化芸術は興味がある人が主体となってやるべきであって行政が積極的にやる必要性を感じない。	1
文化活動を聖域とせず必要不要を個別に見直すべき。 時代にあわないもの、逆に新しい時代に必要なものなど。	1
文化芸術の振興の是非から問い直してほしい。	1
特になし	6
計	16

■ 運動やスポーツについて

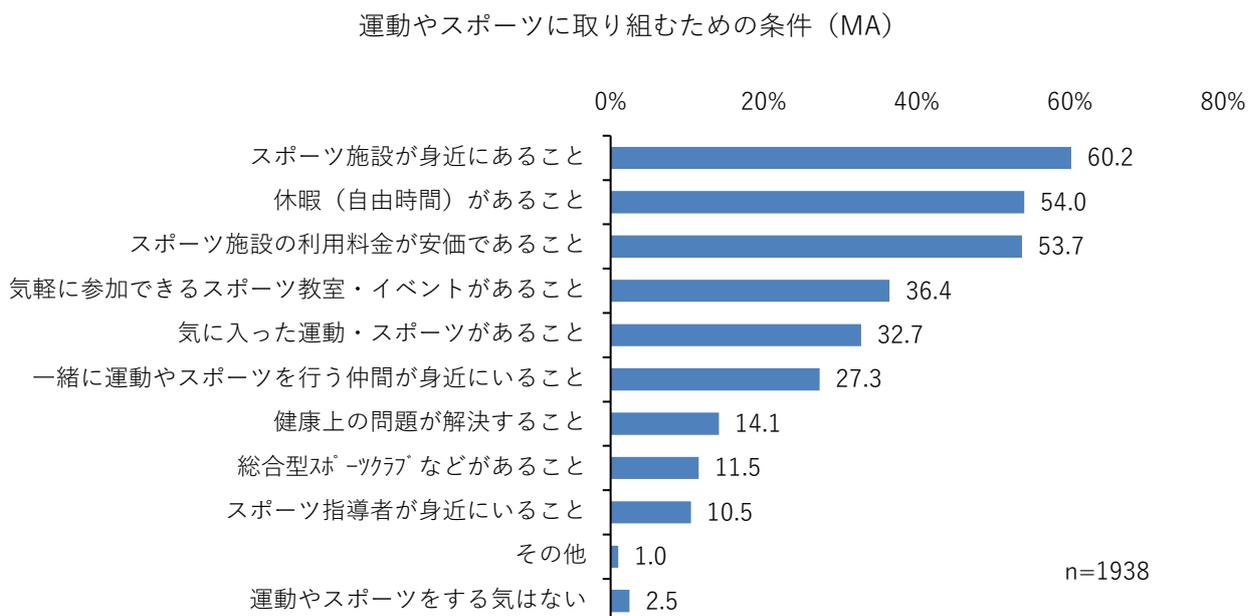
問 11 : 運動やスポーツへの取り組み状況と満足度 (SA)

「運動やスポーツをしたいと思っているが、できない」が 45.1%と最も高く、次いで「運動やスポーツをしていないが、特に不満はない」が 23.0%、「運動やスポーツをしているが、さらに充実したい」が 18.4%などとなっている。



問 12 : 運動やスポーツに取り組むための条件 (MA)

「スポーツ施設が身近にあること」が 60.2%と最も高く、次いで「休暇(自由時間)があること」が 54.0%、「スポーツ施設の利用料金が安価であること」が 53.7%などとなっている。



その他	n
幼児も一緒に参加できること	1
働いている人でも参加できる時間の教室がほしい。	1
託児があること	1
施設が適切に整備されていること	1
子供を預ける場所がない。	1
子供と一緒に参加できない(小学生と参加できても、下の子は未就学児なため不可。日時とかによっては預けられないため、参加できなくなる。)	1
子育て世代も運動やスポーツに参加できる環境づくり	1
仕事育児に追われスポーツをする時間が取れない。時間があればスポーツをしたいと常々思う。	1
高レベルな、運動機会の創出。具体的には、私の場合ヨガをしているが甲斐市で提供するヨガスクールは初心者レベルのみで、物足りない。	1
甲斐市にも陸上競技場が欲しい。	1
交通手段の確保	1
健康上の問題に近いが、運動不足過ぎて、外に出て運動しようという気力が湧かない。	1
経済的な余裕がないのでやりたくてもできません。	1
金銭的、時間的な自由、子供と取り組める、等	1
学童まで送迎をしてくれる。	1
育児や家事で暇がない。	1
どんな人でも運動に親しめる施設の充実	1
スポーツ施設の予約がオンライン上で出来ること	1
24時間の、ジムが市民向けに安価に利用できる助成などがあれば助かります。	1
計	19

問 13-1 : 主な体育施設の利用状況 [市の体育施設 (体育館・グラウンド・テニスコート等)] (SA)

83.5%が「利用していない」となっており、利用しているのは「年に数回利用する」が 8.3%、「週に1回以上利用する」が 5.4%などとなっている。

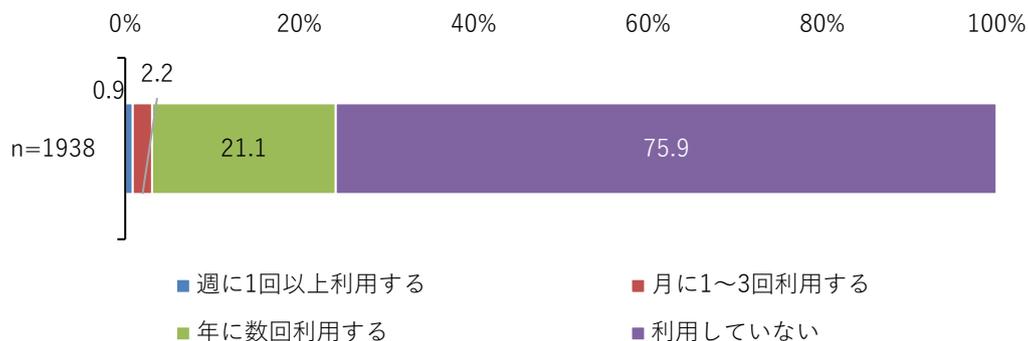
主な体育施設の利用状況 [市の体育施設 (体育館・グラウンド・テニスコート等)] (SA)



問 13-2 : 主な体育施設の利用状況 [市のプール] (SA)

75.9%が「利用していない」となっており、利用しているのは「年に数回利用する」が 21.1%、「月に1~3回利用する」が 2.2%などとなっている。

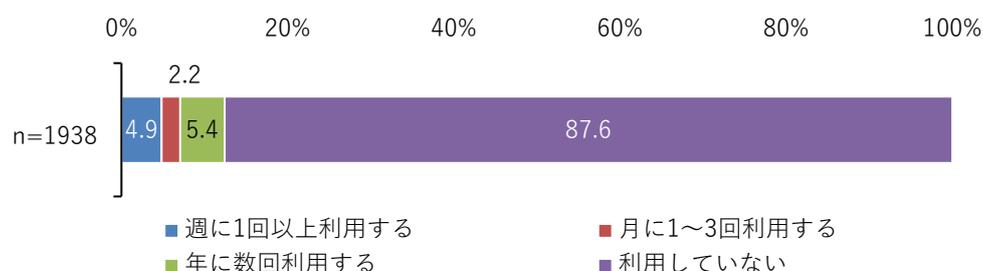
主な体育施設の利用状況 [市のプール] (SA)



問 13-3 : 主な体育施設の利用状況 [学校の体育施設 (体育館・グラウンド等)] (SA)

87.6%が「利用していない」となっており、利用しているのは「年に数回利用する」が 5.4%、「週に1回以上利用する」が 4.9%などとなっている。

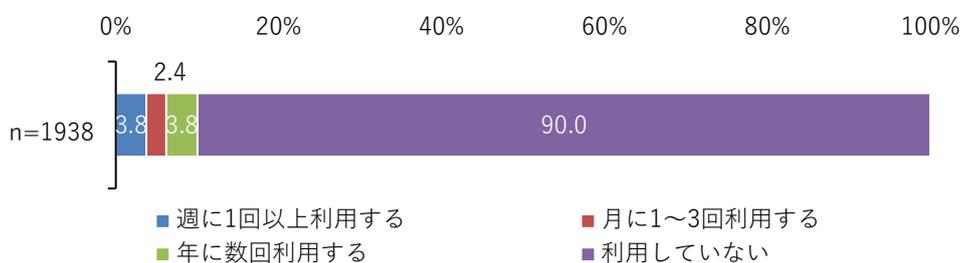
主な体育施設の利用状況 [学校の体育施設 (体育館・グラウンド等)] (SA)



問 13-4 : 主な体育施設の利用状況 [民間の体育施設] (SA)

90.0%が「利用していない」となっており、利用しているのは「年に数回利用する」と、「週に1回以上利用する」が 3.8%などとなっている。

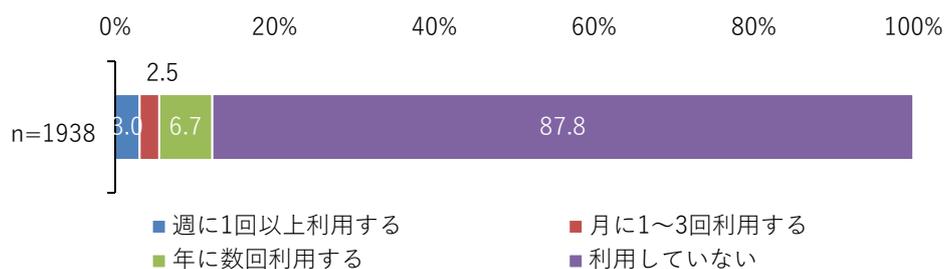
主な体育施設の利用状況 [民間の体育施設] (SA)



問 13-5 : 主な体育施設の利用状況 [他市町村の体育施設] (SA)

87.8%が「利用していない」となっており、利用しているのは「年に数回利用する」が 6.7%、「週に1回以上利用する」が 3.0%などとなっている。

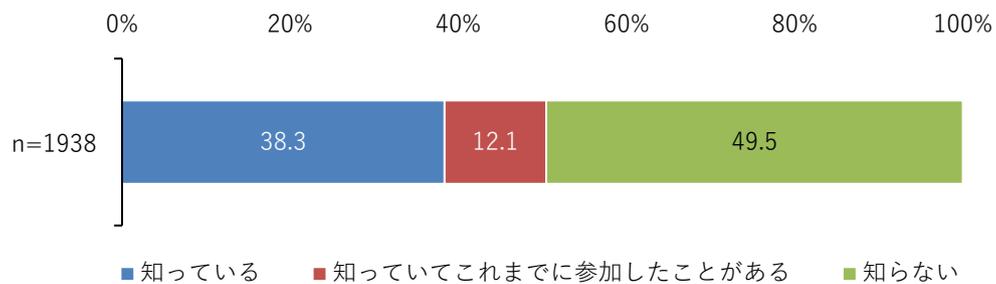
主な体育施設の利用状況 [他市町村の体育施設] (SA)



問 14-1-1 : 市主催の運動やスポーツ関連イベントの認知度 [KAI SPORTS DAY] (SA)

「知らない」が 49.5%と最も高く、次いで「知っている」が 38.3%、「知っているこれまでに参加したことがある」が 12.1%となっている。

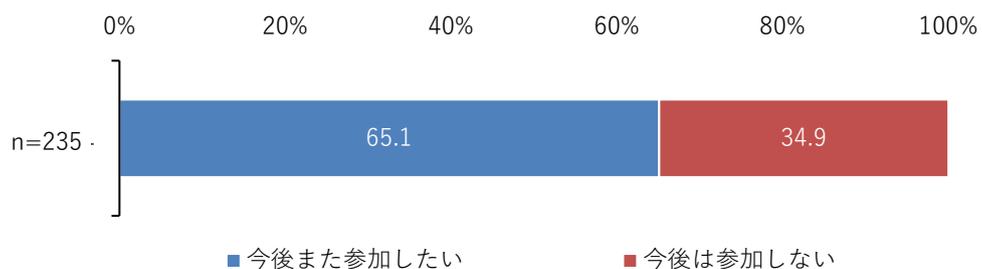
市主催の運動やスポーツ関連イベントの認知度 [KAI SPORTS DAY] (SA)



問 14-1-2 : 今後もまた参加したいか [KAI SPORTS DAY] (SA)

「今後もまた参加したい」が 65.1%、「今後は参加しない」が 34.9%となっている。

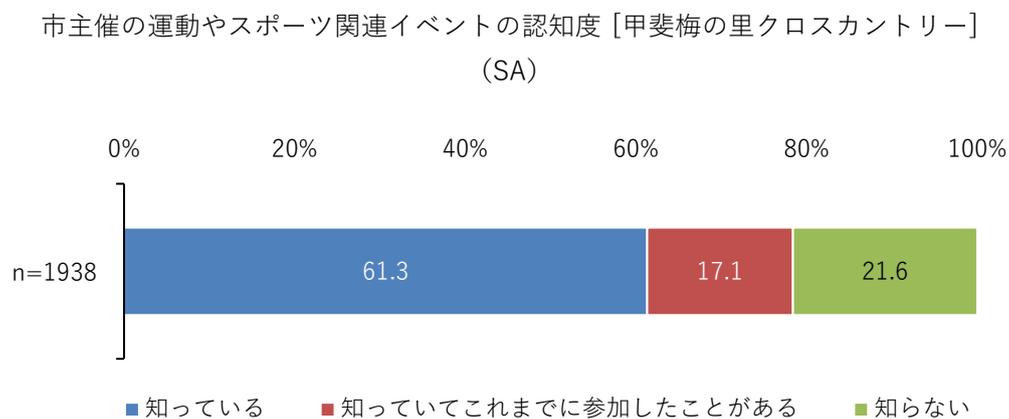
今後もまた参加したいか [KAI SPORTS DAY] (SA)



※問 14-1-1 で「知っているこれまでに参加したことがある」と回答した方のみ

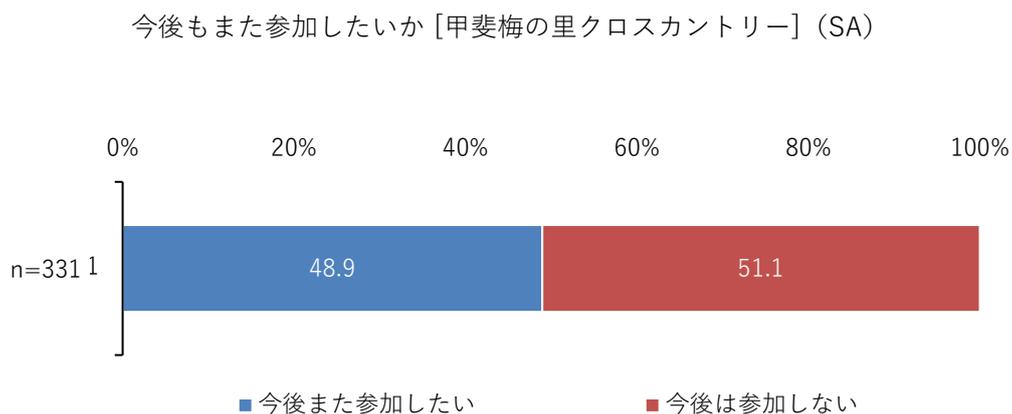
問 14-2-1 : 市主催の運動やスポーツ関連イベントの認知度 [甲斐梅の里クロスカントリー] (SA)

「知っている」が 61.3%と最も高く、次いで「知らない」が 21.6%、「知っていてこれまでに参加したことがある」が 17.1%となっている。



問 14-2-2 : 今後もまた参加したいか [甲斐梅の里クロスカントリー] (SA)

「今後また参加したい」が 48.9%、「今後は参加しない」が 51.1%となっている。

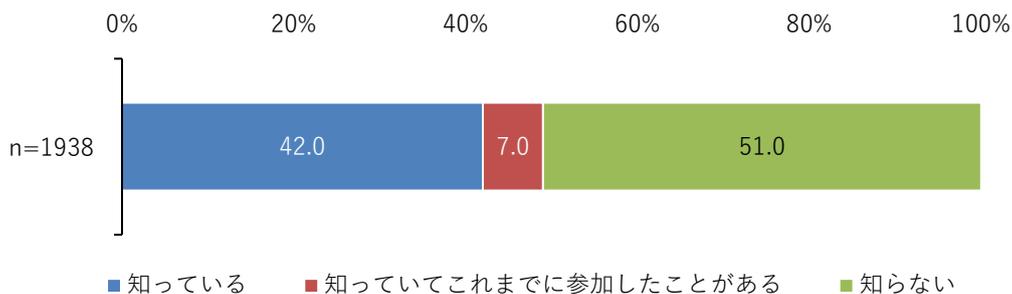


※問 14-2-1 で「知っていてこれまでに参加したことがある」と回答した方のみ

問 14-3-1 : 市主催の運動やスポーツ関連イベントの認知度 [軽スポーツ教室] (SA)

「知らない」が 51.0%と最も高く、次いで「知っている」が 42.0%、「知っているこれまでに参加したことがある」が 7.0%となっている。

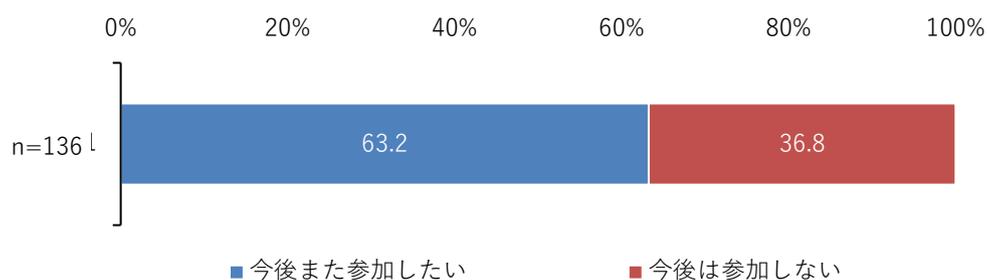
市主催の運動やスポーツ関連イベントの認知度 [軽スポーツ教室] (SA)



問 14-3-2 : 今後もまた参加したいか [軽スポーツ教室] (SA)

「今後また参加したい」が 63.2%、「今後は参加しない」が 36.8%となっている。

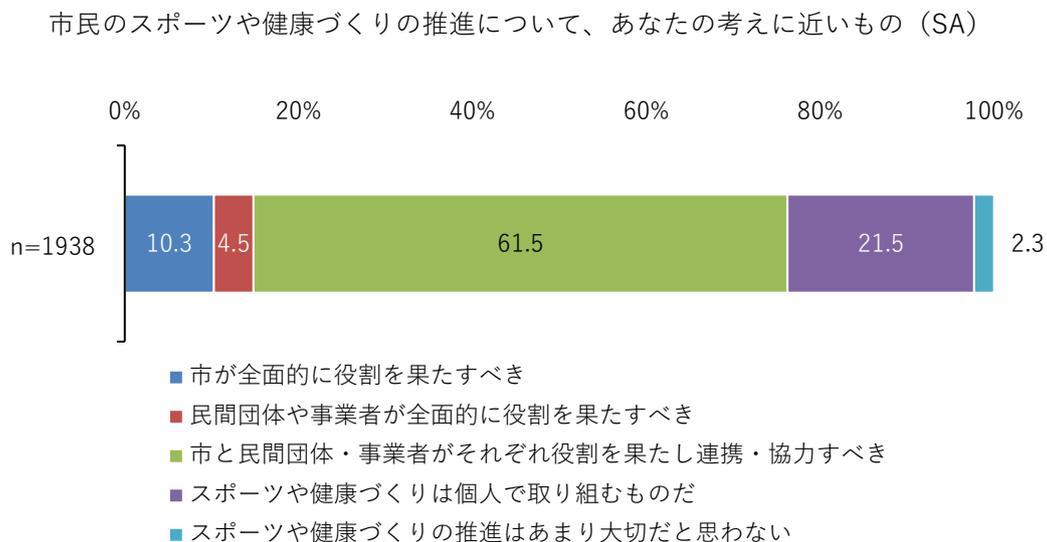
今後もまた参加したいか [軽スポーツ教室] (SA)



※問 14-3-1 で「知っているこれまでに参加したことがある」と回答した方のみ

問 15 : 市民のスポーツや健康づくりの推進について、あなたの考えに近いもの (SA)

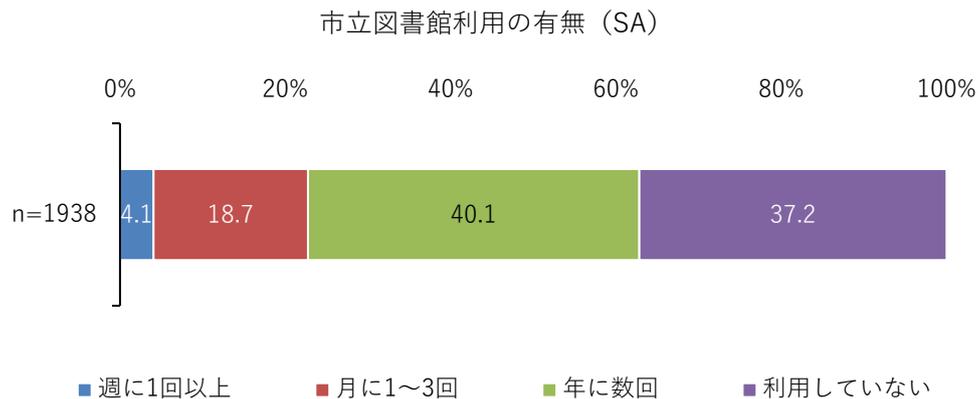
「市と民間団体・事業者がそれぞれ役割を果たし連携・協力すべき」が 61.5%と最も高く、次いで「スポーツや健康づくりは個人で取り組むものだ」が 21.5%、「市が全面的に役割を果たすべき」が 10.3%などとなっている。



■ 図書館利用について

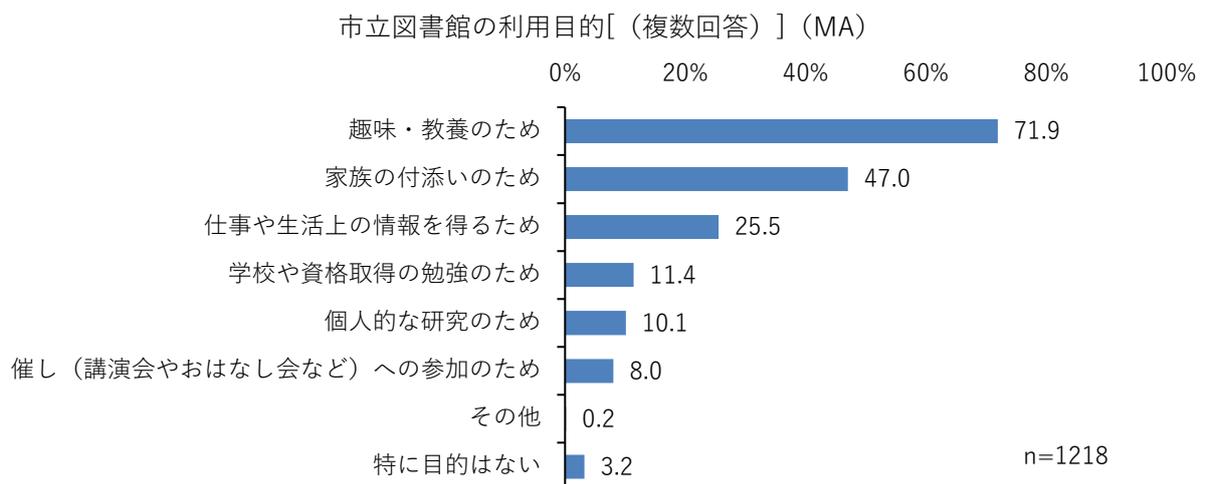
問 16-1 : 市立図書館利用の有無 (SA)

「年に数回」が 40.1%で最も多く、次いで「利用していない」が 37.2%、「月に 1～3 回」が 18.7%などとなっている。



問 16-2 : 市立図書館の利用目的 (MA)

「趣味・教養のため」が 71.9%で最も多く、次いで「家族の付添いのため」が 47.0%、「仕事や生活上の情報を得るため」が 25.5%などとなっている。

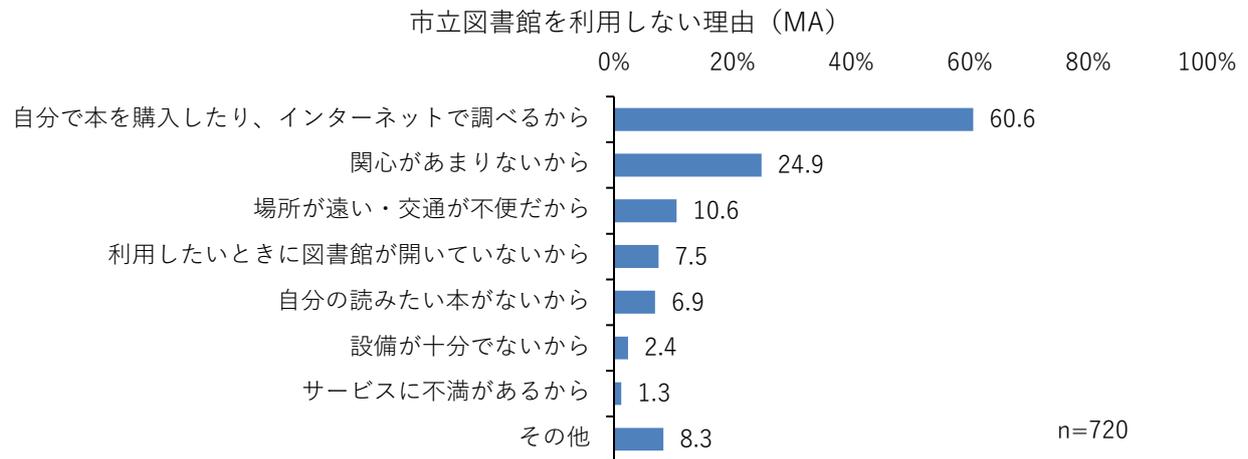


※問 16-1 で「週に 1 回以上」、「月に 1～3 回」、「年に数回」と回答した方のみ

その他	
時間つぶし	1
インターネット利用	1
計	2

問 16-3 : 市立図書館を利用しない理由 (MA)

「自分で本を購入したり、インターネットで調べるから」が 60.6%で最も多く、次いで「関心があまりないから」が 24.9%、「場所が遠い・交通が不便だから」が 10.6%などとなっている。

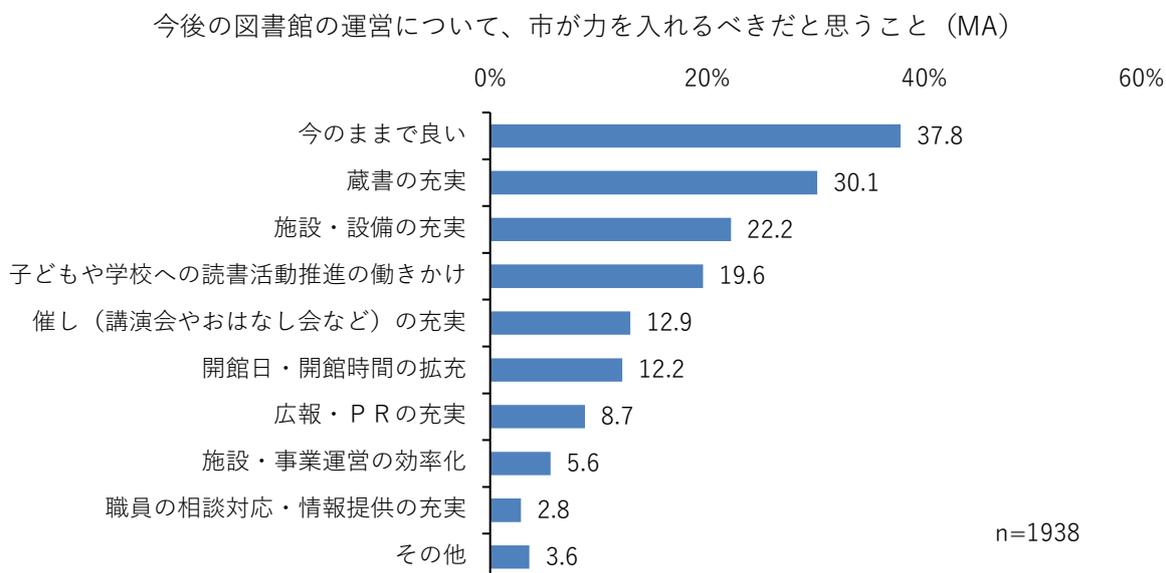


※問 16-1 で「利用していない」と回答した方のみ

その他	n
図書館に行く時間がないから。	25
子どもが迷惑をかけてしまいそうで心配だから。	7
利用の仕方がわからない。	2
1歳までの頃には読み聞かせのイベントに行っていましたが、今は平日仕事をしているので行けません。	1
いつ読む時間が取れるかわからないので本は買います。	1
なかなか行く機会がない。あえて行かなくても現時点では不都合がないので。	1
以前は利用していました（様々な面で充実していると思います）。現在は、勤務先の大学の図書館を利用しているため、市立図書館を利用していませんが、退職したらまた利用させていただきたいと思っております。	1
一度利用する機会があれば、ひとりで一歩踏み出す勇気がない。	1
引越して年が浅いから場所が不明。	1
県立図書館によく行くため。	1
行きたいと思っているが、体調に不安がある。	1
行くきっかけがない。	1
雑誌などは個人で買うものではないかと思えます。	1
使い方がわからない、使うのにハードルが高い、どんな施設なのか情報が少ないので行きづらい。	1
使ったことがないので、入りにくい。本の借り方や建物の中のことがわからない。	1
司書の態度が悪かったから。	1
子育て中で行きたい時にゆっくり行くことが出来ない。	1
子供が小さい頃は、よく利用させてもらいました。	1
子供が小さい時は良く利用していたが現在は子供が大きくなり、私自身は行く機会が無くなりました。	1
市外でよくいく場所に図書館があり、そこで借りる。	1
自主スペースが、県立図書館のような設備になっていないので、県立図書館を利用している。県立図書館は、インターネット利用のサービスもある。	1
出掛けることを億劫に思ってしまう。	1
場所を知らない。	1
数年前までは子供と毎月数回行っていたが、子どもたちが大きくなり、それぞれ自分で行けるようになったため、一人でとなるとなかなか行かなくなりました。	1
多くの人が本を触る為、衛生的出ないと思うので。	1
普段使いには昭和町の図書館くらいの規模で、近くにあったら利用しやすい。	1
返却がめんどくさい。	1
忙しく借りて返すのが大変。	1
特になし	1
計	60

問 17 : 今後の図書館の運営について、市が力を入れるべきだと思うこと (MA)

「今のままで良い」が 37.8%で最も多く、次いで「蔵書の充実」が 30.1%、「施設・設備の充実」が 22.2%などとなっている。



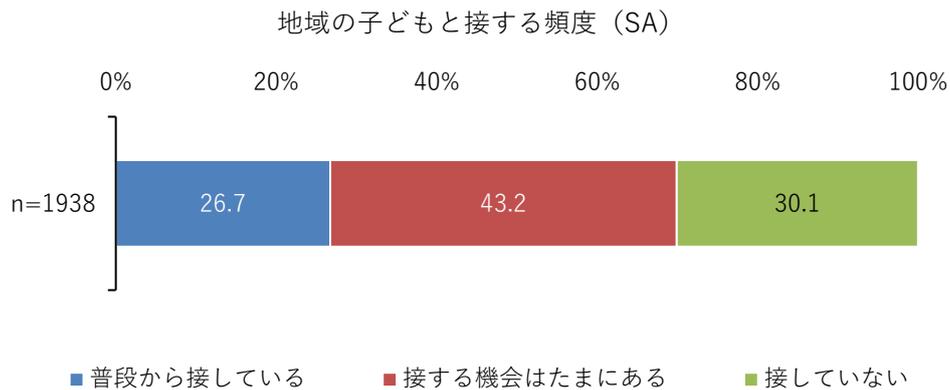
その他	n
学習スペースなど勉強できる場所の充実	8
電子書籍の導入	6
利用したことがないのでわからない。	5
DVD などの充実	2
図書館の統廃合	2
他館との書物の貸し借りの円滑化	2
アプリで貸し出し予約、予約の順番、予測貸出日の目安がわかる、借りた履歴が自分でわかる。	1
オンライン貸し出しや、オンラインブックなど現代に合わせた貸し出し。	1
カフェがあると嬉しい。	1
コミュニティの集まりが感じられる環境作り、従来の図書館ではなく、他県にあるもっと開かれた場所としての図書館へ変わってほしい、テーマパークのような新しいイメージを持てる図書館だと年齢関係なく行きやすい。	1
ネットワークで蔵書検索ができること	1
ホームページをもっと見やすくしてほしい。	1
もっとエアコンを効かせて涼しく過ごしやすいようにしてほしいです。	1
安全面(トイレの場所など子供一人では不安)	1
飲食できたり誰もがくつろげるスペースがあったら良い。	1
壊してしまうと本を弁償するのが大変。	1
絵本の中には触るだけでページが取れてしまうほど劣化しているものも少なくありません。まだまだ読みたい子どもがいるような絵本については修繕や買い替えをお願いしたいです。	1
県立図書館のようなレンタルスペース。気軽に借りたい。イベントや教室が出来るスペース。	1
現在の運営について分からないので比較できない。	1
催し物のネット予約	1

その他	n
図書館とも個性があって、それぞれに好きです。	1
使用者に読みたい本のアンケートまたはリクエスト行い本を増やす。	1
子供の図書を代理で親が借りられないのはおかしい。	1
市の財政に見合う運営にするべきだと考えます。	1
職員に気軽に話しかけられない。みんな忙しい、手一杯な雰囲気があり声をかけにくい。 明らかに人手不足だと感じる。公共サービスなのに、人件費削減するのは利用者にはとても迷惑です。 他に削るところがあるのではないですか？ここ数年で図書館の雰囲気が変わりとても残念に思います。	1
職員の待遇を更に良くして人材の充実を図る。	1
新刊を充実してほしい。	1
図書館の蔵書はどういったものか、職員はどのような仕事をしているのか、利用者にとって知らう事も PR の仕方の一つと考える。事情を知られば苦情やクレームの減少や、事業への協力・連携も取りやすくなり、催しへの参加・参画も進んだりしないだろうか。と、言うようなことを「税金で買った本」という漫画を読んでみて考えるようになった。	1
図書館の必要性が疑問	1
図書館の役割は時代とともに変化してきている。必ずしもこれまでと同じものを維持する必要はない。	1
図書館員の一部に態度がとんでもない人がいる。	1
図書館機能だけではなく、カフェの併設など魅力ある図書館	1
図書館職員の知識向上	1
赤ちゃん連れが利用しやすい所にしてほしい。授乳室などオムツ替える場所。安全に過ごせるスペースがあると良い。	1
双葉図書館の蔵書の日焼けがひどい。明るい図書館は雰囲気としてはいいかもしれないが本には厳しい環境。 せめてガラスコーティングなど紫外線対策を望みます。	1
双葉図書館は、冷房効果が弱く、暑苦しい。	1
その他	n
他市の施設であるようにマンガ図書館のようなもつと親しみやすい本を多く設置して欲しい。	1
地域ごとに、希望者が集まって検索方法や流れを教えて貰う機会を作って欲しい。	1
駐車場の確保	1
読書スペースの他に、ワークショップや友達との勉強会ができる人が交流するスペースを儲ける。	1
南部公民館の図書館を利用しやすくして、学習コーナーもあってほしい。 西小や南小学校の子どもたちには竜王図書館は遠い。	1
韮崎市の図書館、ニコリのように飲食可能で 1 日滞在出来る。 スタディールームだけではなく様々な場所にフリースペースがありいろいろな用途で利用できる。	1
韮崎市や南アルプス市に比べて新刊版や新しい DVD や CD がなくて驚いた！古いままです。	1
部屋の広さの影響もあるが、一般図書館(大人)は陳列の圧迫感があるので、もう少し見易いと良いと思います。	1
複数ある図書館がローテーションで夜 21 時まで開館してくれたら大変嬉しいです。 子育て中に図書館に行ける時間が子供の塾の送迎前後だったりするので、その時間を有意義に使いたいです。	1
本が古く情報も古い。動画編集や、AI 関連力入れて欲しい。 いじめ対策一環で、本から学ぶと浸透しやすく、ONEPIECE や、ポケモンなど親しみやすいアニメからの方が 受入れやすいと思うから。教育と、堅苦しくやっても響かないと思う。	1
本に興味を持たせたいと思う。図書カードなどの配布。本を買う買ってみようって思うことから始めるべき。	1
良い本が閉架にある。たまには紹介コーナーで館内に出して欲しい。	1
知らない	1
ない	1
わからない	1
計	70

■ 家庭・地域・学校に連携について

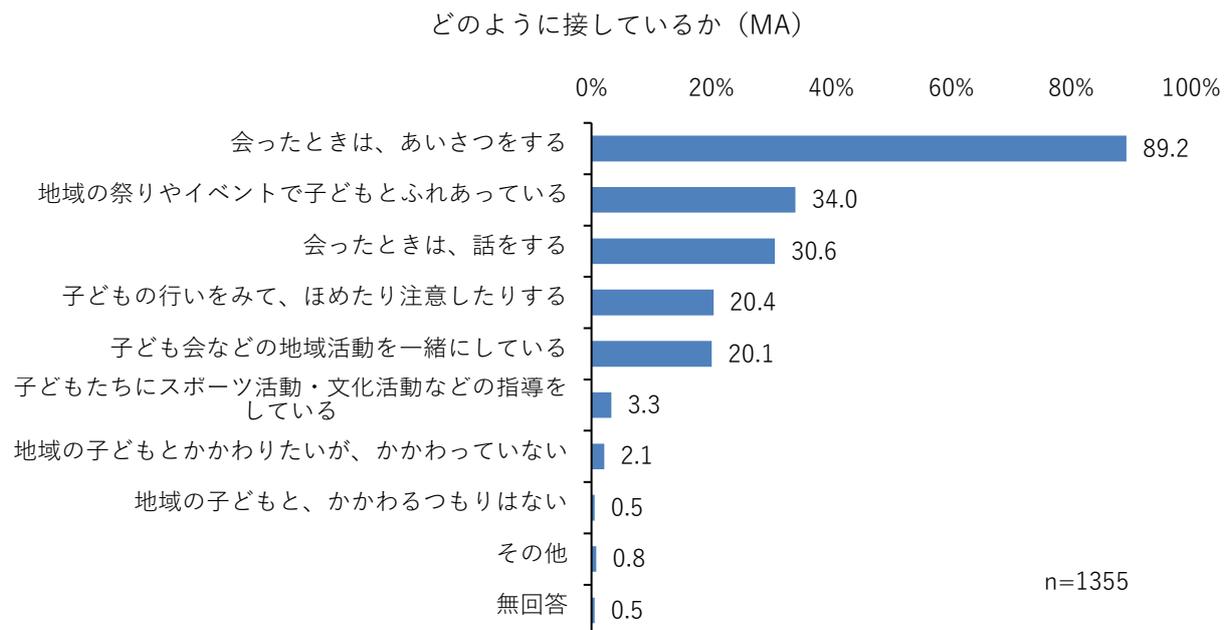
問 18-1 : 地域の子どもと接する頻度 (SA)

「接していない」は 30.1%で、「普段から接している」が 26.7%、「接する機会はたまにある」が 43.2%となっている。



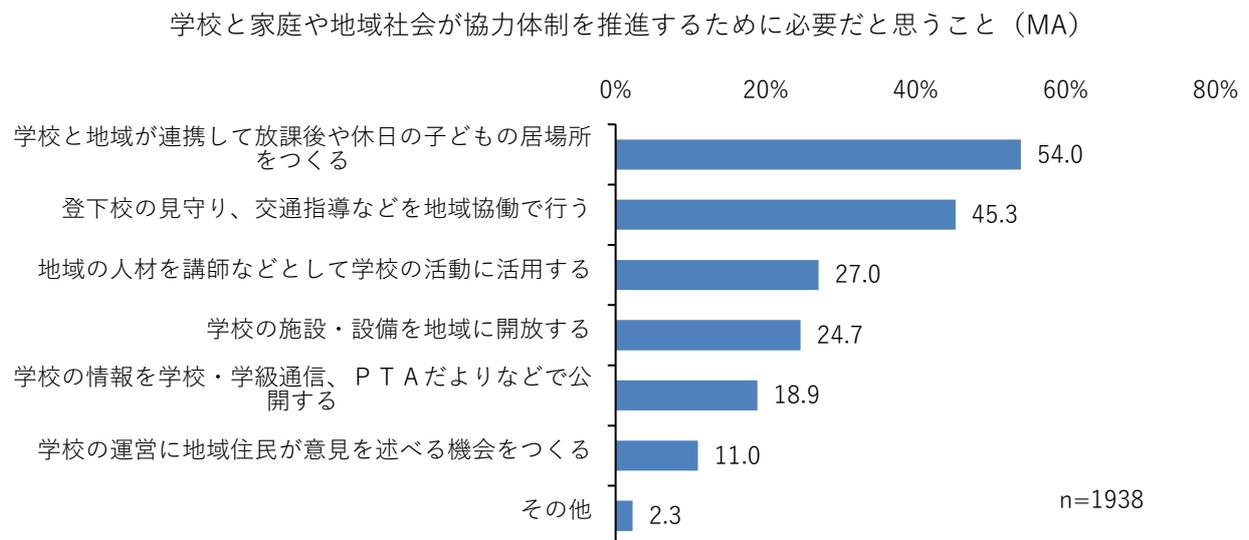
問 18-2 : どのように接しているか (MA)

「会ったときは、あいさつをする」が 89.2%で最も多く、次いで「地域の祭りやイベントで子どもとふれあっている」が 34.0%、「会ったときは、話をする」が 30.6%などとなっている。



問 18-3 : 学校と家庭や地域社会が協力体制を推進するために必要だと思うこと (MA)

「学校と地域が連携して放課後や休日の子どもの居場所をつくる」が 54.0%で最も多く、次いで「登下校の見守り、交通指導などを地域協働で行う」が 45.3%、「地域の人材を講師などとして学校の活動に活用する」が 27.0%などとなっている。



その他	n
必要性を感じない	4
特になし	3
わからない	2
PTA をなくして意欲ある保護者のボランティア制にする。	1
この推進のために、保護者負担を増やさないでほしい。ただでさえ共働きで多忙なのに。やるなら市の職員で勝手にやってほしい、保護者負担は決して増やさないでほしい。	1
コミュニティスクールの推進。コーディネーターの育成。地域資源の周知。	1
リモート授業等の充実	1
家庭でやるべきこと、地域でやるべきことを増やし、学校の負担を減らすべき。	1
学級通信や PTA だよりは、子どもが小学校に通う保護者のもとにしか届かないため、地域と連携するためには地域への情報提供も必要。発信ばかりではなく、意見等を聞く機会もあるべき。	1
学校、家庭、地域が連携した学校の仕組みに合わない子供が行ける新しい学校作り	1
学校、家庭、地域社会を協力推進するにあたって、人件費が無料であってはならない。教師に任せよう、親に任せよう、定年退職した地域の老人に任せようではなく、知識を持った人をちゃんとお金を払って雇うべき。みんなそれぞれやることがある中でこれ以上協力なんてやっていられないので積極的に雇用していったらいいと思う。	1
学校と地域の距離が広がっているようにみられる。学校と PTA が課題を共有して、解決を模索する場が必要。	1
学校と地域社会は全く別と考えたい。学校に負担がかかる。クラブ活動とかに地域文化のひとつを講師を呼んだりするのはありだと思う。	1
学校の教員では知識不足だと思うので、民間主導でおこなうのがいいかと思う。	1
学校は独自で常に業務改善を行い、より良い運営にしていけるべきである。	1

その他	n
学校も地域社会も、多様な家庭があること、親に時間がなかつたり普段から育児に手が足りずギリギリで回している家庭もあることを知ってもらいたい。	
感心が無い	1
旗振りに関して、強制的になっている。	1
居場所は自分に役割があることで、より意味を持つと思っているので、子どもたちがただ「面倒をみてもらう」だけでなく自らの役割を持てる取り組みがあったらベストだと思う。	1
現役で働いている年代に負担をかけるべきではない。	1
高齢化を止める取り組みと、若い世代が暮らしたいと思える政策の提示が必要ですね。	1
子どもたちが地域で活躍できる機会の創出	1
子供と地域社会の協力体制を推進したくない。	1
時間が無く何も出来ない。	1
親への教育。地域の助けがあることで、子育てがより楽で安心なものになる、手助けを求められるような関係を築く必要性を知っておいてほしい。特に、開始は移住者が多く親族が身近にいない方が多いのだから。そのためには、まずは妊娠中の母親学級の内容の見直し、担当者もより知見の広い方が良い。	1
推進することは現時点での地域とのかかわりを見ると、難しいと感じます。	1
先生方の負担軽減の為に地域住民が協力する。保護者だけでなく、登録したボランティアがミシンや工作等の授業で手助けや見守りに参加したり、低学年の給食配膳の手伝いをする。運動会の練習中の水分補給、掃除時間など地域住民が声かけや見守りすることで、ケガ防止や命を守ることにつながる。	1
全て学校に頼るのではなく、家庭や地域の人ができることを積極的に実施する。学校の負担の軽減につなげる。例えば、雪が降った日は地域の人と保護者が協力して通学路や歩道橋などを雪かきする。学校のイベント時には保護者以外にも協力できる人は駐車場整理など協力するなど…。子どもの居場所についても地域の公民館などを利用して地域の人により受入等を実施することで、学校、行政の負担が軽減されると思う。行政はそれに補助金を支出し、学校や行政が必ずしも主体になる必要はないと思います。	1
他人の子どもと触れ合いたいとは思いません。	1
地域住民に協力を強制しない。防犯の面から身分が明らかである者で、希望した人だけに協力を求める。	1
登下校の見守りが仕事に支障あり。地域ボランティアに依頼したい。	1
登下校の見守りを高齢の方にさせていただくことは悪くはないのですが、高齢者の方の健康面を考えると厳しい暑さ、寒さ、雨天時などは負担が大きいのではないかと感じております。高齢者でなくとも地域にはお子さんたちを見守りたいという方はいらっしゃると思いますので、高齢者に限定せず、ボランティアを広げていくとよいのではないかと思います。	1
不審者目撃場所がある程度、わかるのに、なぜ対策しないのか。または、繰り返しているのだから流石に特定できるのではないかと。交番付近で起きてくることもあり、おまわりさんを含め何やってるんだろうと憤りを感じる。	1
不登校児童や生徒の受け入れ体制を整える。	1
聞こえないスピーカーで放送するより、SNSを使った情報伝達を通常は利用するほうが、確実に伝わる。非常災害時等でも、SNSは情報量が少ないので、活用できる可能性が高い。ただし、広範囲停電が発生すると、1日で使えなくなるので、その他の非常通信手段（アマチュア無線等）の確保も重要だと思う。	1
保育園、小学校のクラス人数(最大数)をある程度同じにする。保育園のほうが1クラス人数が多い。	1
放課後の図書館利用をして欲しい。返却の問題があるので子供がいる家庭など制限付きでもいいと思う。	1
盆踊りや季節行事がない、現代に合わせた行事を市で主催したらいいのに。市のイベントも少ない	1
計	44

問 19 : 学校に関する活動のうち、協力してみたいこと (MA)

「通学路における登下校時の見守り活動」が 28.3%で最も多く、次いで「運動会や文化祭など学校行事の支援」が 24.4%、「その他ボランティア活動」が 18.2%などとなっている。
また、「協力したいことはない」は 21.1%となっている。



■自由意見

問 20 : 自由意見 (FA)

自由意見については、記載が膨大となることからテキストマイニング及びワードクラウドによる共起ネットワークによる分析を行った。

集計及び統計解析には、フリーソフトウェアの KHCoder とユーザーローカル AI テキストマイニングを使用した。

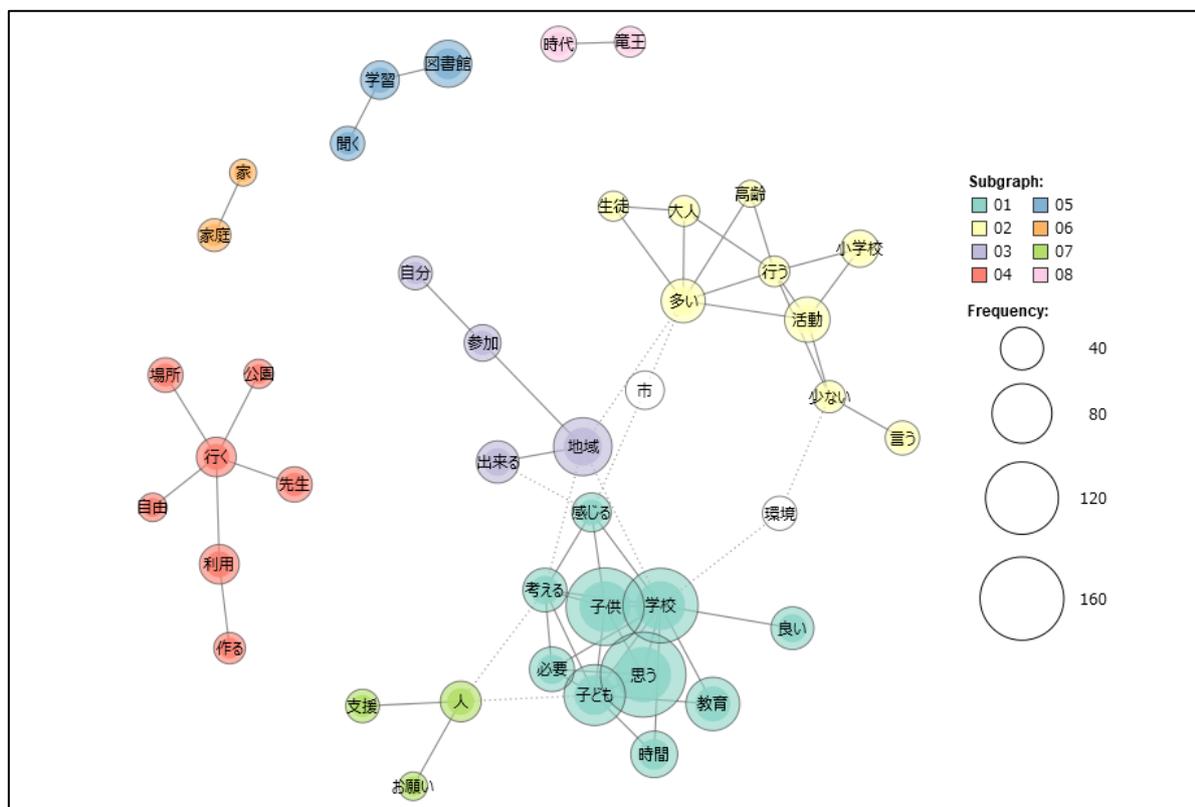
<テキストマイニングとは>

文章を対象にデータ解析をする手法であり、文章を言語上、意味のある最小単位で区切ることで、出現頻度、語句の相関関係などの傾向やパターンなど、有用な知見を抽出する。

<共起ネットワークとは>

単語同士の関連性や出現パターンの類似性を踏まえて、文章中の単語のつながりを可視化したもの。

【共起ネットワークによる分析】

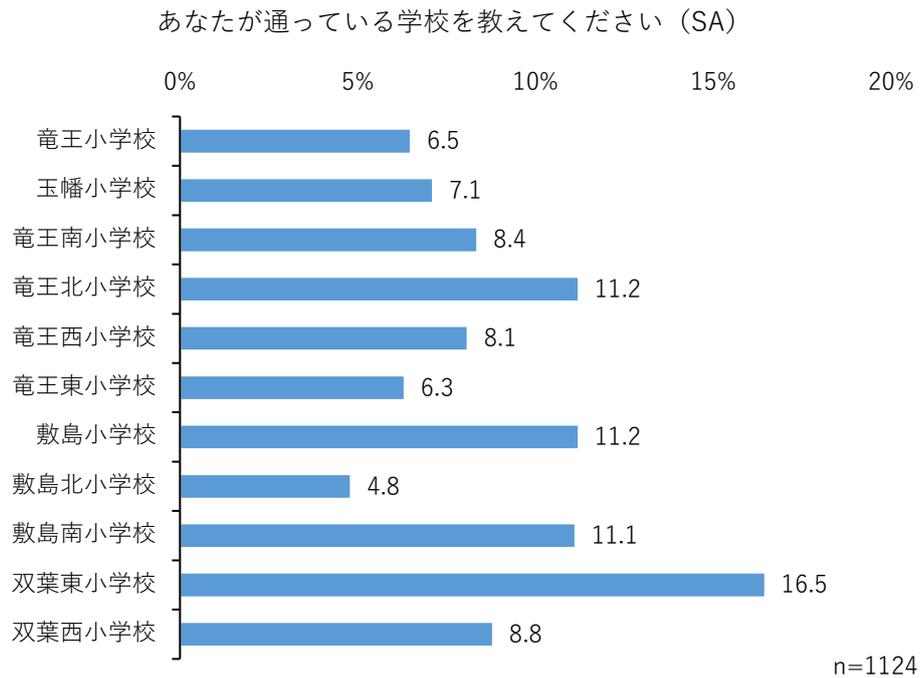


- ◆ 「学校」、「子ども」、「思う」、「教育」といったワードに繋がりがみられた(青色の群)。
学校教育に関する記述が多くあったためと考えられ、「子ども目線で、子どもに必要な教育を考えるべきである」といった意見がみられたため、「必要」、「考える」、「良い」といったワードが関連してきていると想定される。
- ◆ 「地域」というワードには「参加」、「出来る」といったワードと繋がりがみられた(紫色の群)。
PTA や地域ボランティアなど様々な活動に関する意見が多くあったためと考えられ、「参加したい」という意見があった一方、「負担が大きく、なんとかしてほしい」といった声もあり、様々な意見がみられた。
- ◆ 「活動」、「小学校」、「多い」などのワードにも繋がりがみられた(黄色の群)。
これらの地域活動も含め、様々な活動へのコメントがあったためと考えられ、大人や高齢者が小学校の活動にどう関係していくかについての意見などもみられた。
- ◆ 「行く」というワードには「先生」、「場所」、「利用」、「公園」といったワードと繋がりがみられた(オレンジ色)。
各種施設の利用や子どもの居場所に関する意見が多くあったためと考えられ、施設や公園の利用だけでなく、通学や放課後の子どもの居場所などについて、様々な意見がみられた。

【小学生アンケート】

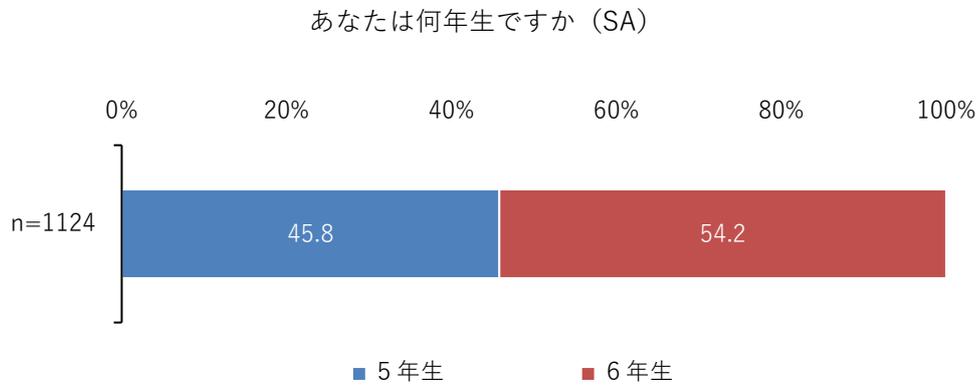
問 1 : あなたが通っている学校を教えてください (SA)

「双葉東小学校」が 16.5%で最も多く、次いで「竜王北小学校」と「敷島小学校」が 11.2%などとなっている。



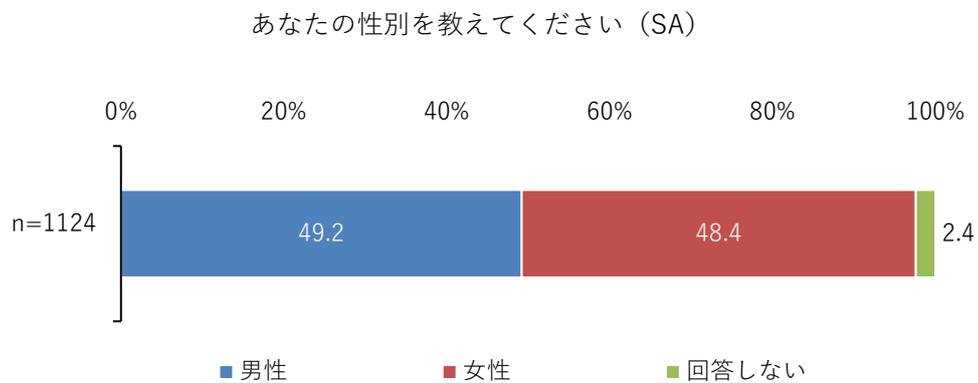
問 2 : あなたは何年生ですか (SA)

「5年生」が 45.8%、「6年生」が 54.2%となっている。



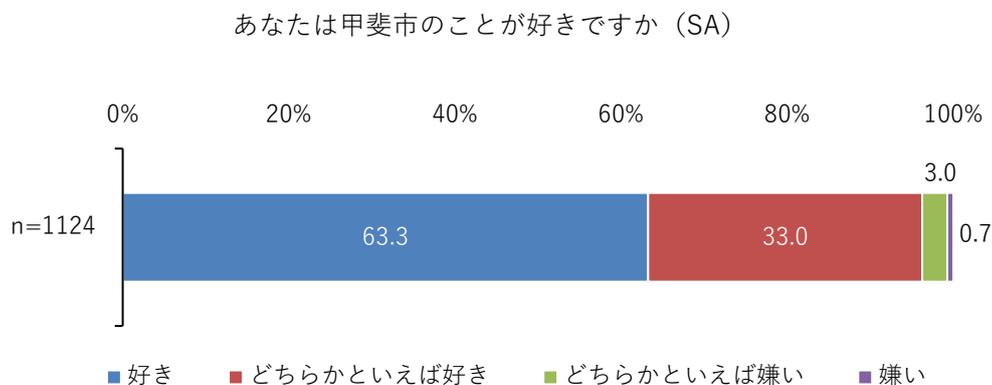
問 3 : あなたの性別を教えてください (SA)

「男性」が 49.2%、「女性」が 48.4%、「回答しない」が 2.4%となっている。



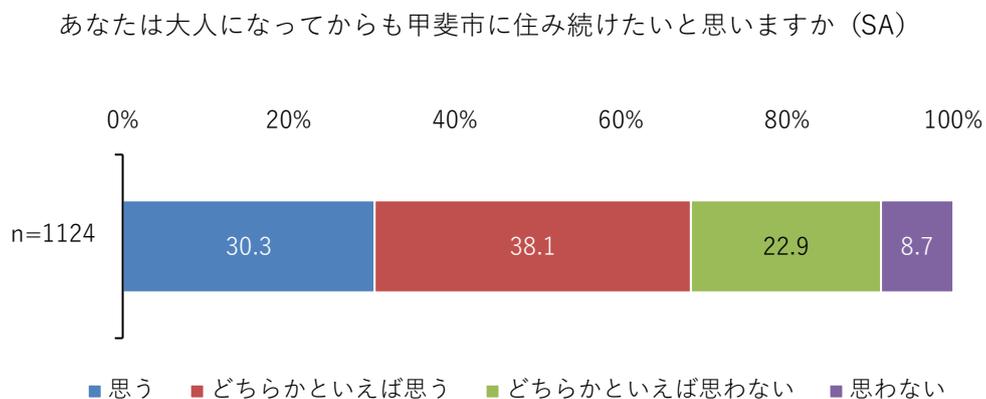
問 4 : あなたは甲斐市のことが好きですか (SA)

「好き」が 63.3%、「どちらかといえば好き」が 33.0%となっており、大半が好きと回答している。



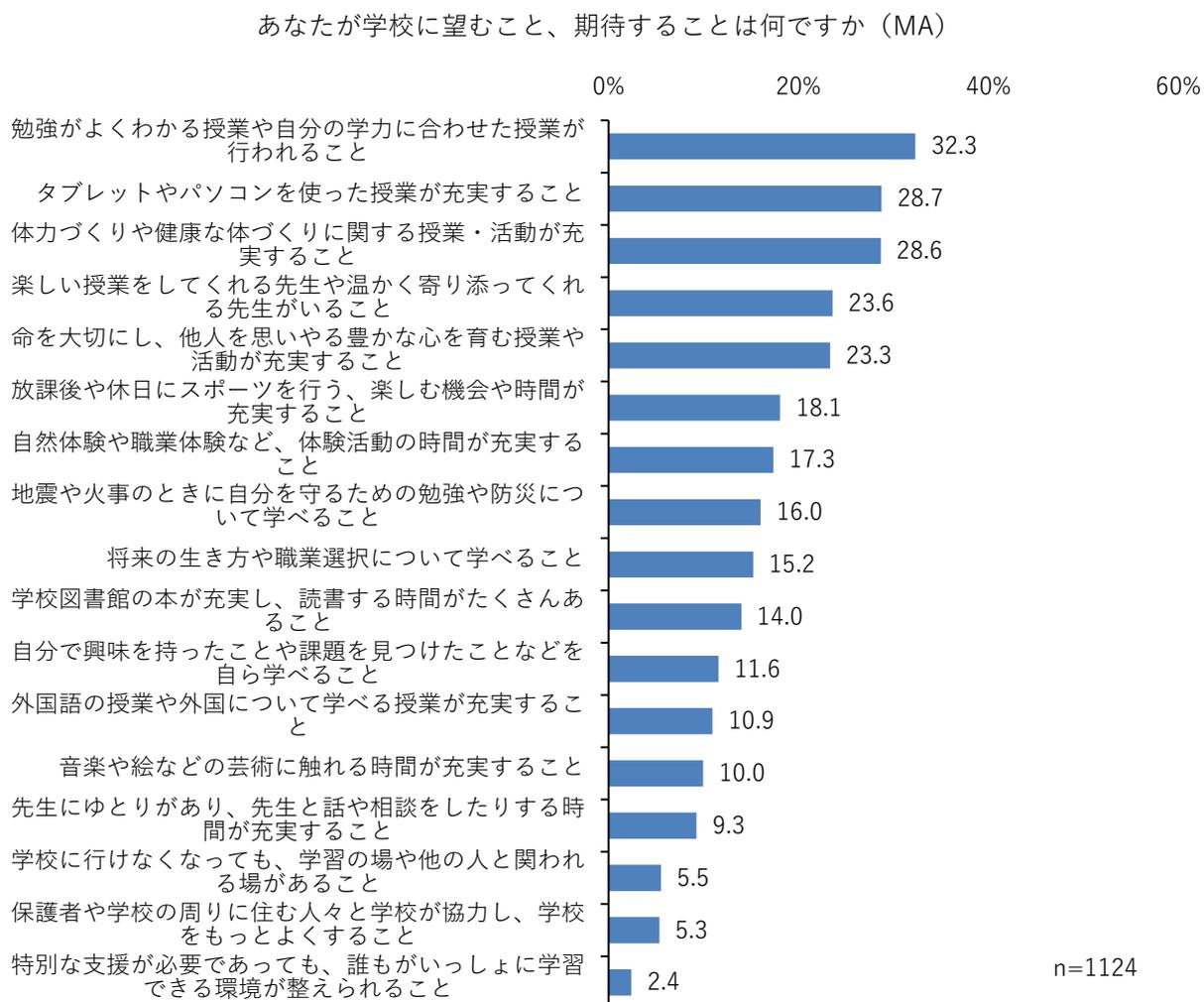
問 5 : あなたは大人になってからも甲斐市に住み続けたいと思いますか (SA)

「思う」が 30.3%、「どちらかといえば思う」が 38.1%となっており、約 7 割が住み続けたいと回答している。



問 6 : あなたが学校に望むこと、期待することは何ですか (MA)

「勉強がよくわかる授業や自分の学力に合わせた授業が行われること」が 32.3%で最も多く、次いで「タブレットやパソコンを使った授業が充実すること」が 28.7%、「体力づくりや健康な体づくりに関する授業・活動が充実すること」が 28.6%などとなっている。



問 7 : 問 6 で選んだ理由をそれぞれ教えてください (FA)

【回答率の高かった 3 つの項目の主な選択理由について記載】

「勉強がよくわかる授業や自分の学力に合わせた授業が行われること」については、「分かりやすい授業の方が覚えやすいから／楽しいから」「自分に合った授業であれば集中できるから」といった意見が多くみられた。

「タブレットやパソコンを使った授業が充実すること」については、「分からないことをすぐに調べることができるから」「使い方を学ぶことで将来仕事をする上でも役立つと思うから」といった意見が多く、「荷物が減ってランドセルが軽くなる」といった意見もみられた。

「体力づくりや健康な体づくりに関する授業・活動が充実すること」については、「体を動かすことが好きだから」「体力をつけることで健康な体になるから」といった意見が多くみられた。

問 8 : 学校をよりよくするアイデアがあったら教えてください (FA)

市民アンケートと同様、テキストマイニング及びワードクラウドによる共起ネットワークによる分析を行った。

集計及び統計解析には、フリーソフトウェアの KHCoder とユーザーローカル AI テキストマイニングを使用した。

【テキストマイニングによる分析】



◆ 増やす、全校、交流、学年、深める

… 学年を超えて、全校的にみんなで触れ合い交流することができるようにしてほしいとの意見が多くみられた。

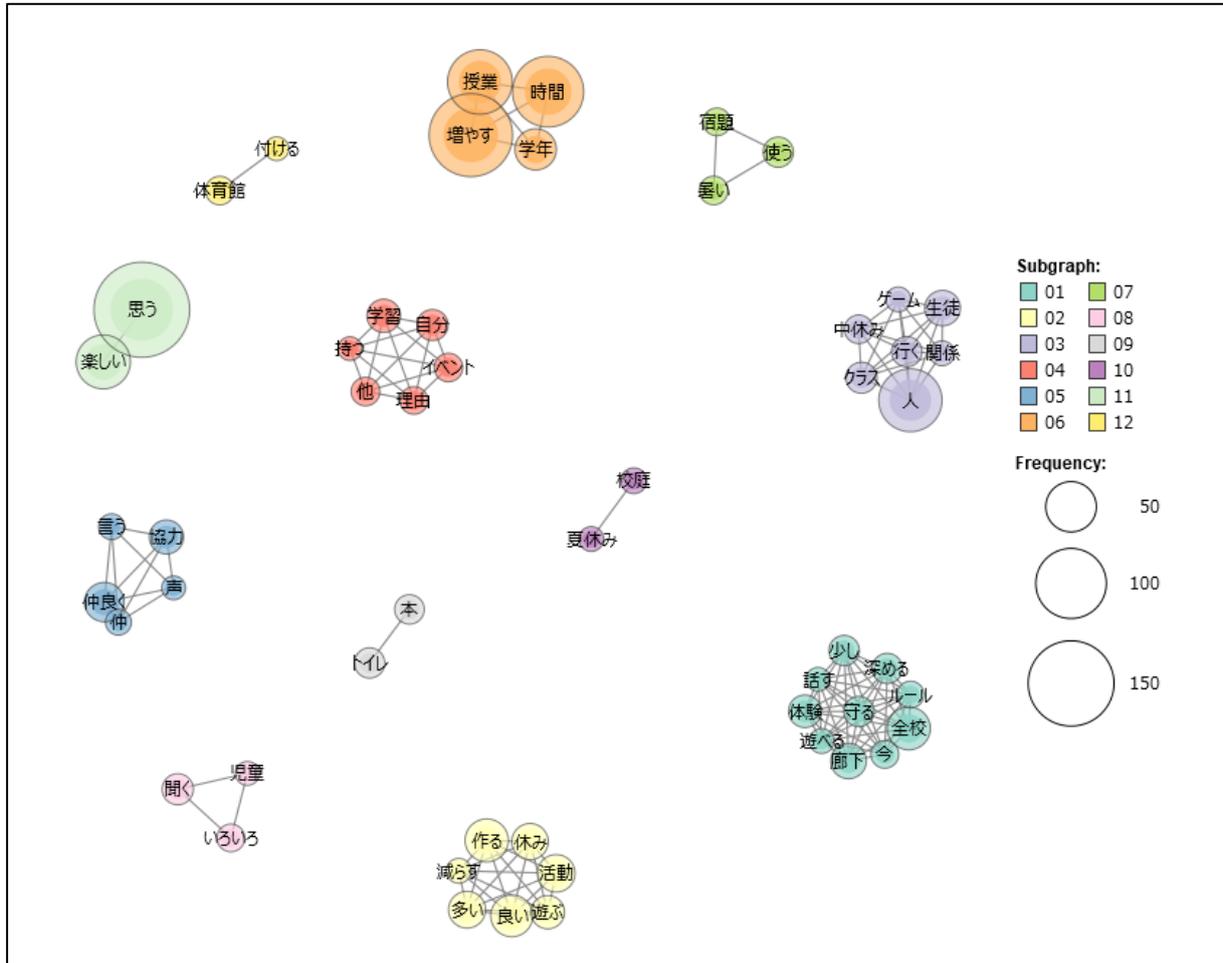
◆ 増やす、中休み、休み時間

… 中休みや休憩時間を増やしてほしいとの意見が多くみられた。

◆ あいさつ

… 笑顔でしっかりあいさつをすることが大事であるとの意見が多くみられた。

【共起ネットワークによる分析】

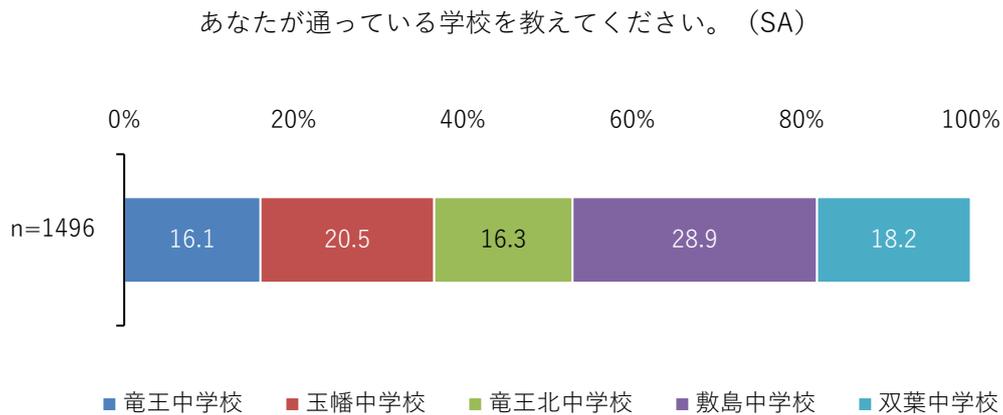


- ◆ 「増やす」、「授業」、「学年」といったワードに繋がりがみられた(オレンジ色の群)。
先述の、学年を超えた全校的な交流を求める意見が多くあったためと考えられる。
- ◆ 「全校」、「ルール」、「守る」などのワードで繋がりがみられた(水色の群)。
廊下を走らない、悪口を言わないなどルールやマナーを守るべきであるとの意見が多くあったためと考えられる。
- ◆ 「人」、「関係」、「クラス」などのワードにも繋がりがみられた(紫色の群)。
あいさつに代表されるように、みんなで明るく楽しく過ごしたいといった意見が多くあったためと考えられる。
- ◆ 「作る」、「休み」、「遊ぶ」などのワードにも繋がりがみられた(黄色の群)。
休み時間を増やしてほしい、遊ぶ時間がほしいといった意見が多くあったためと考えられる。

【中学生アンケート】

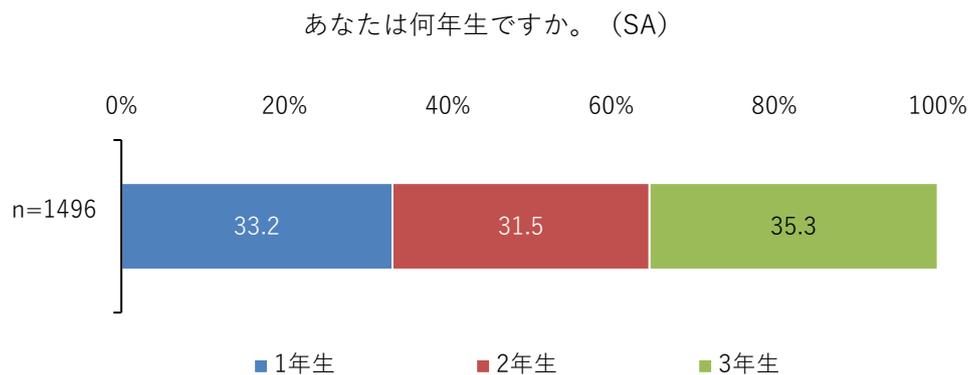
問 1 : あなたが通っている学校を教えてください (SA)

「敷島中学校」が 28.9%で最も多く、次いで「玉幡中学校」が 20.5%、「双葉中学校」が 18.2%などとなっている。



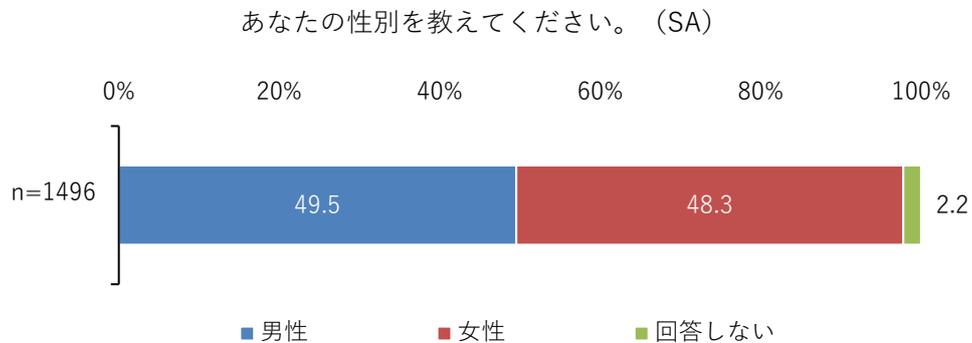
問 2 : あなたは何年生ですか (SA)

「1年生」が 33.2%、「2年生」が 31.5%、「3年生」が 35.3%となっている。



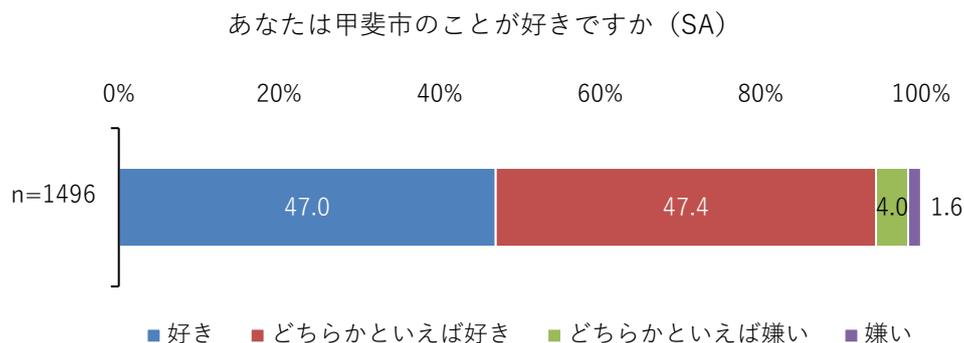
問 3 : あなたの性別を教えてください (SA)

「男性」が 49.5%、「女性」が 48.3%、「回答しない」が 2.2%となっている。



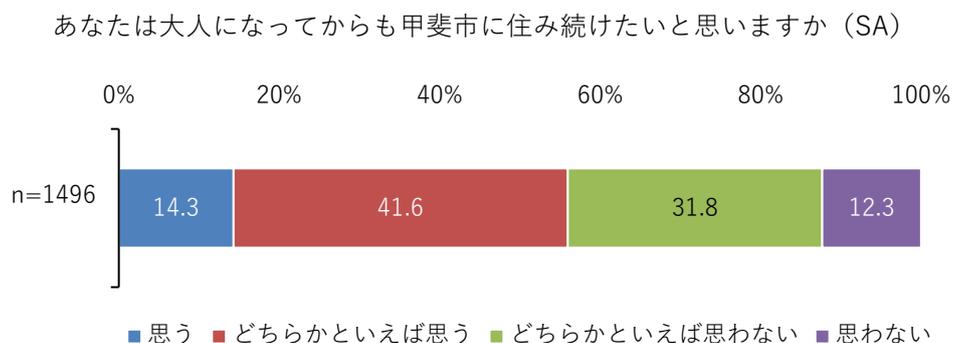
問 4 : あなたは甲斐市のことが好きですか (SA)

「好き」が 47.0%、「どちらかといえば好き」が 47.4%となっており、小学生と比べると比率はやや低いものの、大半が好きと回答している。



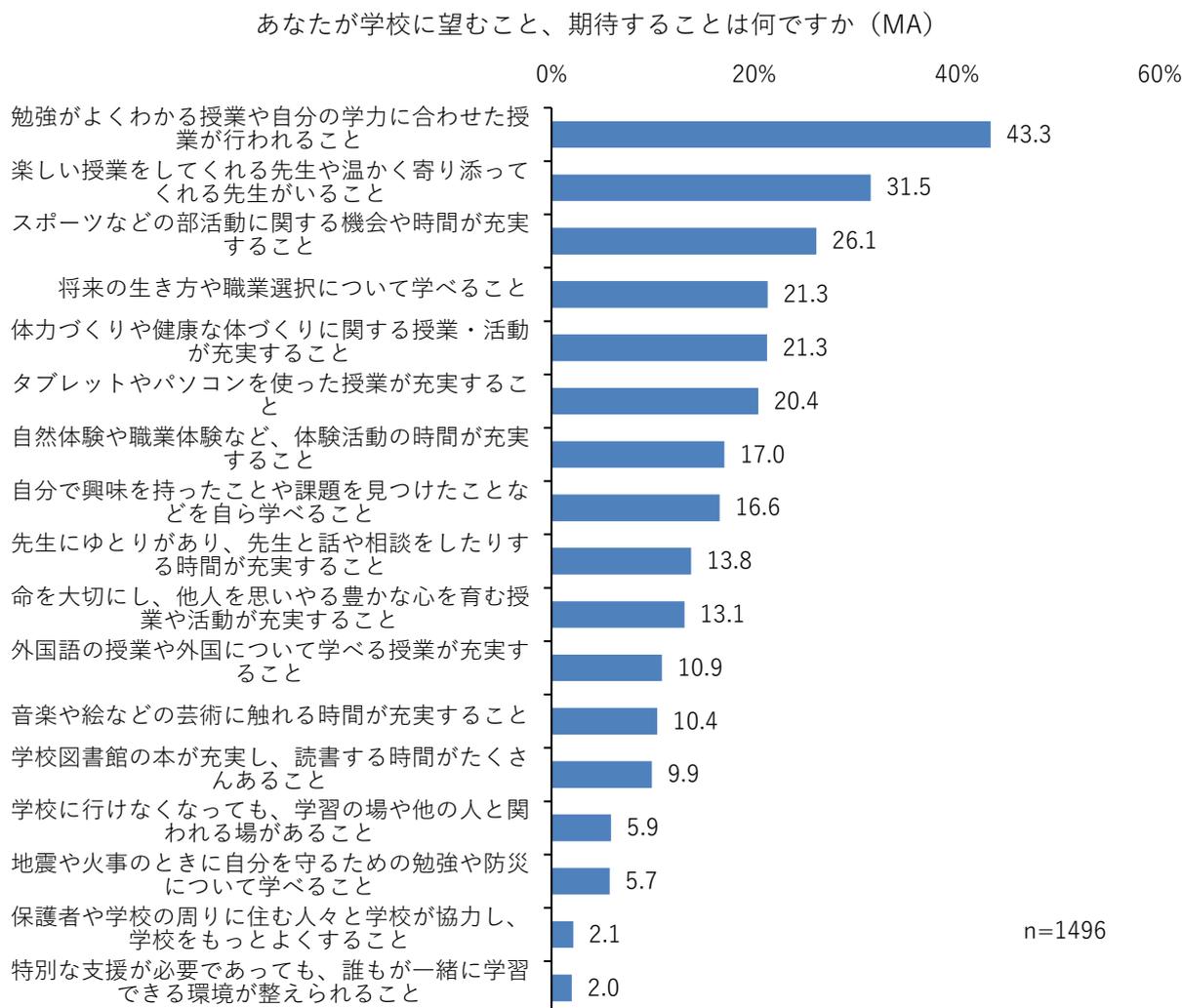
問 5 : あなたは大人になってからも甲斐市に住み続けたいと思いますか (SA)

「思う」が 14.3%、「どちらかといえば思う」が 41.6%となっており、小学生と比べると比率はやや低いものの、6割弱が住み続けたいと回答している。



問 6 : あなたが学校に望むこと、期待することは何ですか (MA)

「勉強がよくわかる授業や自分の学力に合わせた授業が行われること」が 43.3%で最も多く、次いで「楽しい授業をしてくれる先生や温かく寄り添ってくれる先生がいること」が 31.5%、「スポーツなどの部活動に関する機会や時間が充実すること」が 26.1%などとなっている。



問 7 : 問 6 で選んだ理由をそれぞれ教えてください (FA)

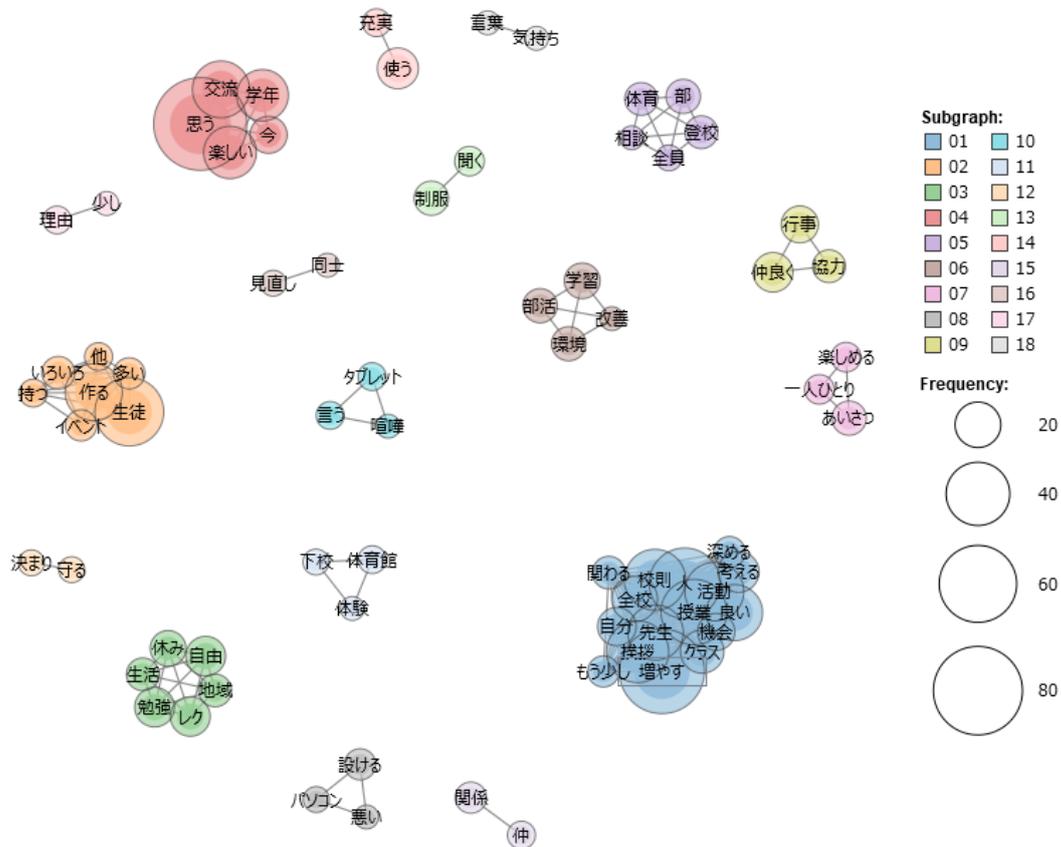
【回答率の高かった 3 つの項目の主な選択理由について記載】

「勉強がよくわかる授業や自分の学力に合わせた授業が行われること」については、「自分の学力にあった学習によりしっかり理解したいから」「学力向上が期待できるから」といった意見が多くみられた。

「楽しい授業をしてくれる先生や温かく寄り添ってくれる先生がいること」については、「そのような先生がいることで安心して学校生活を送ることができるから」「楽しい授業をしてくれることで勉強が好きになるから」といった意見が多くみられた。

「スポーツなどの部活動に関する機会や時間が充実すること」については、「運動やスポーツが好きだから」「運動能力が向上するから」「大会などの目標に向かって頑張りたい」といった意見が多くみられた。

【共起ネットワークによる分析】



- ◆ 「増やす」、「全校」、「クラス」、「機会」といったワードに繋がりがみられた(青色の群)。また、「交流」、「学年」、「楽しい」といったワードに繋がりがみられた(桃色の群)。先述の、学年を超えた全校的な交流を求める意見が多くあったためと考えられる。また、「関わる」、「深める」、「考える」といったワードも関連がみられ、生徒が自ら考え、行動しようという意思をもった回答が多かったことが見てとれる。
- ◆ 「生徒」、「イベント」、「作る」などのワードで繋がりがみられた(オレンジの群)。交流ができるイベントを作りたい、あったらいいといった意見が多くあったためと考えられる。